

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-70)、
廃棄物管理施設(45)、MOX燃料加工施設(2-34))」

2. 日時：令和5年6月28日(水) 13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安
全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規
制専門員

日本原燃株式会社 再処理事業部副部長(設工認) 兼 燃料製造事業部燃料製
造建設所 許認可業務課長

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年6月22
日の提出資料に基づき、申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理状
況について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備の分類については、再処理施設における設備の構造設計とし
て説明すべき事項を含め、引き続き整理を進める。
- ・設備の構造を体系立てて説明するため、各資料での説明事項、それぞれの
資料の関係等を明確にし、記載すべき事項を整理する。また、申請対象設
備を類型化して説明するに当たって、代表して説明する分類の考え方、各
分類において説明する設計の範囲等を整理する。
- ・設備の構造設計等を説明する上で必要な仕様等の情報を整理する。その際、
関連する各条文に係る基本設計方針との関係や、他の分類での説明事項と
の棲み分けも踏まえて整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請

を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年6月22日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	はい、6を開始しました。
00:00:02	規制庁山口ですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また、
00:00:14	令和5年2月28日に申請があった、MOX燃料加工施設の設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
00:00:25	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。本庁会議室から古作田尻、藤原、羽場笹木、小野横山。
00:00:36	山口。
00:00:37	あとその他WEBから竹田、上出、岸野、大川大橋。
00:00:44	以上になります。
00:00:45	それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明して本日の議題の構成を説明して資料の説明を開始してください。
00:00:58	はい、日本原燃事務局中浜です。日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:05	Steering チームから石原、あとMOX及び再処理の事務局参加させていただきます。
00:01:14	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、先週22日ですね、提出させていただきました共通中に、
00:01:22	についてご確認いただきたいと思います。
00:01:26	それでは説明のを崩壊させていただきます。
00:01:33	はい、宮城西原でございます。
00:01:36	共通12ということで6月22日に提出をさせていただきましたリビジョン9。
00:01:43	ということの資料でございます。
00:01:47	先日の今後の進め方の中でお話した通りまだ設計説明グループですね、の役割だったりその代表ごとにするか、役割手当率の代表、特別補足説明書等リンクといったものまで、
00:02:04	反映できた形になっておりませんが、今回の資料で以前のヒアリングでのやりとりを踏まえて修正した点、あとは今後の進め方のヒアリングでのやりとりを踏まえて今後修正をしていきたいと思っている調整の方針について、
00:02:21	説明をさせていただきたいと思います。

00:02:24	なおこれは小村進め方でもお話した、資料としてはかなりのパッケージになってますがステップ、第1ステップということで、共通上位としてどういう形で資料を構成して紐づけをしながら整理をしていくかと。
00:02:38	いうことの資料としては合格整理に係るものということで、説明をさせていただきたいと思います。
00:02:46	別途目をさせていただきたい。
00:02:49	はい。まず、本文でございますが本文、まだ頭の方の分類の話についてはうまく書きいけません、19ページのところから、要望ということで共通12をどうやって説明をしていくのかということで教育的な説明をしたという、者会合でもご説明をした。
00:03:08	設計説明分類統合後説明グループという整理をした上で、どこでそれぞれ何をターゲットに説明をしていくのかというこの整理を追加をさせていただいてございます。
00:03:20	追加をさせていただいて、本文上は大きくはそういった修正をしております。
00:03:26	はい。加えまして資料123全体に加えて資料1にさ。はい。資料1につきましては、
00:03:36	ページとしては、38ページからになります。
00:03:41	資料1については、申請対象設備リストをもとに、それに情報を付加する形で整理をさせていただいてございます。
00:03:52	以前今後の進め方でもやりとりでご質問ありましたが、もし、資料1については、MOXの場合は第2回の申請対象設備すべて設備すべてを
00:04:02	対象としてリスト化をしております。
00:04:05	それに対して、左から4番目ですかね設計説明分類を、どの設備をどの部分に入れたのかというのがわかるように整理をしているのと、
00:04:15	あとは、飛田梨衣真ん中からちょっと左寄りになりますけども、キリンからの変更点ということの整理を、対象設備ごとにさせていただいてございます。
00:04:28	前回計上させていただいた資料から、青字れが変わっております青字と黒字でわかりづらいと思いますが、
00:04:40	変更箇所のところですね、評価条件等の変更箇所のところの項目を大分まとめて

00:04:50	方角がわかるようにし仕分けをさして整理をさせていただきましたかなり細かいこと書いてました学校往復の整理に修正をさせていただいてございます。
00:05:01	またや、鳥でいくと 39 ページの第 6 条のところで、ちょうど真ん中辺ですかね。これも黒と青でわかりづらいと思いますが、
00:05:17	難波。
00:05:20	呼んでいます。
00:05:25	4、
00:05:27	204、242 番ぐらいからですね B のうちになって青字になってますこれは 2 分の 1SD とか評価を評価条件の変更に留まってやるということもあって、以前は B のようにしてましたが B-1 に、
00:05:39	変更していると、というような、また B-1 に減っているというか変更してございます。
00:05:46	はい。
00:05:47	資料 1 としては大賀君といった申請対象設備をすべて対象にして整理をしますということで、分類をしたのが、資料 1 でございます。
00:05:57	この資料 1 の後に、プレの後にして、70 ページに、この設備を大きく分けるとどういう設計説明分類になるのかと。
00:06:10	いうことの整理をしたもの。
00:06:12	加えて別添 2 として、72 ページ以降に、先ほどの申請対象の説明書の、各条文で、当間基本設計方針と、この設備が紐づくのかと。
00:06:25	先ほどの B-1 とかそういった記号ですが、次の資料に繋がるように基本設計方針との関係を整理をしてございます。
00:06:36	これをピックにして何ができ上がること言いますと、
00:06:43	費用の 2 番の頭ですね、4 ページ 91 ページ以降の設計説明分類横軸、条文縦軸になっている設計説明分類と、
00:06:55	条文の設置を設計方針との関係と、いうことの整理に繋がるということでございます。どの基本設計方針を開いて NEAT の設計説明分類が説明が必要なのかと。
00:07:06	それが、システム設計なのか構造設計なのか配置設計なのかという整理をさせていただきます。

00:07:14	この分類に従って、それぞれの条文ごとに、四条が 95 ページ以降、それぞれの条文ごとに、基本設計方針を並べ添付書類の関係するものを並べて、
00:07:28	炉の設計説明分類で決して設計構造設計は 1 定検どの設計を説明しないといけないのかという整理をしているのが、条文ごとについているのが、
00:07:39	資料 2 の 95 ページ以降でございます。
00:07:43	はい。
00:07:47	まず今回の資料を作った時の整理をどうしたかというところをなぜ説明して変更点は後程また振り返って説明をさせていただこうと思います。
00:07:59	はい。
00:08:00	例えばですね耐震で 197 ページ。
00:08:05	そこで耐震設計も、具体的にどういった設計とのリンクになるのかっていうのが、漠とした表現でしかなってなかったのが、今回修正をしたのが、
00:08:18	各設計説明分類に対してどういった設備が対象になっていて、それが耐震設計でいわゆるモデルとして除いて耐震設計の基本方針で分類のどれに当てはまるのかと。
00:08:32	いうことを整理をしてございます。
00:08:34	さらにそれが、構造設計と説明することを評価に繋がることと、いう整理を、耐震のところの特化した形で整理をしているところではございました。
00:08:46	はい。
00:08:49	俺が各条文ごとに、資料 2 がずっと続きます。はい。
00:08:56	それをターゲットに、今度は資料 3 に繋がるのはどこに繋がるのかというのが、今回の設計説明分類の対象がグローブボックスオープンポートボックス風洞を含むと。
00:09:10	いう一番の設計説明分類ですので、資料 2 の各シートで、
00:09:16	この設計説明分類の方、説明対象になると、いうことをひも整理したものを全部集めて、資料 3 として、具体の構造設計の説明に入るということではございます。
00:09:30	資料 3 としましては、出だしがあったんだろう。
00:09:34	ヘリポートピークになります。

00:09:36	資料3としましては、D261 ページ目次があって、クローブボックスをぼっぼっとボックスを含めてここをボックス、
00:09:47	ちょっと病院が入りますということで、262 ページで、また表が表紙があって、約束上3 ページ、ここが一番、プロパンページから、
00:09:58	目的不明分類で説明する構想対立構成になります。それから(1)の3まであります、システム設計構造設計配置設計ということでございます。
00:10:09	はい。ここで、(1)の1がですね、いきなり対になってます、こんなんです。
00:10:15	あれは次の264 ページを見ていただきますと、
00:10:20	今回の設計の中でシステム設計に関係するところが今委員会の対象になってまして、これは前回の審査会合でもご説明した後段のグループで併せて説明をするという形で今回資料30は、
00:10:35	田井伊奈区で後段のところの説明するか具体化できませんがそれを具体化した上で、どこの設計説明グループで、この資料が出てきますということで表現をしています。
00:10:47	この後に出てくるのは8分へ今回適合性を説明すると言っているグループの資料3がこの後に順次ついていくということで構成をしております。
00:10:58	はい。
00:11:01	資料3については、268 ページから、構造設計の詳細設計展開表というのがついてますが、構成としては①番の
00:11:12	詳細設計、展開①番の②番として、図面類が
00:11:21	詳細説明というのが276 ページ以降、これが先ほどの詳細設計展開図とあわせ、リンクを取った上での設計の説明かということを書いていくところ。
00:11:34	これ、図面には、例えば278 ページですけど、どの、基本設計方針等紐づいているのかっていうのが、緑枠の中にそれぞれ紐づけて書いてあるということでございます。
00:11:50	やっぱ絵の中にとということです。
00:11:54	資料3としては、あとは、③番。
00:11:58	3番が改造の案件。
00:12:01	Letme だけ。

00:12:03	おられるか、既認可からの変更点ということで 320 ページからでございます。こちら先ほどの①番の資料で、委員とかの変更点としたものに対して、リンクがとれるように、
00:12:16	何を変更したのかというのが、吹き出しで書いてありきを設計方針の番号とひもづけをしているということでございます。
00:12:24	はい。
00:12:25	お薬の構成としてはこういう形で資料を提示しようとしてますけれどね。先ほどの特に設計第 2 ステップに行きますと、資料 3 の、
00:12:37	まずは資料 2 の、
00:12:39	条文が、ラックピット棚も含めて計上しますのでそれに関係するものが資料 2 として追加をされるのと、
00:12:49	資料 3 が、設計説明へ設定した説明グループ一番の対象のものが全部、関連としてついてくるということでございます。
00:12:59	はい。
00:13:02	一緒。
00:13:04	あとは、こんぱい修正したポイントを最後 1 個だけご説明をします。耐震に関することでございますが、
00:13:13	274 ページからの①番のさらに耐震設計プロセスの状況に特化した表として追加をしています。
00:13:23	はい。ここは、260、273 ページを見ていただくと、これ評価なのか設計なのかっていうところは、我々の認識も整理をしないといけないところがありますが、
00:13:34	273 ページの青字で書いてある上から 2 段目の評価のところを書いてあるように、具体の受注設計条件評価条件等の考え方を、
00:13:46	274 ページ以降のこの耐震設計プロセス条件にて示しますということで、見解をした上で、274 ページからの表としては、第 7 期の耐震計算に関する基本方針と、
00:14:00	用元素要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算作成の基本方針というのを並べた上で、それに対して具体の設備をどう設計していくのかということを展開して状況を、
00:14:14	先ほど詳細定価表に加えて
00:14:18	耐震用に追加をしているということでございます。
00:14:22	はい。

00:14:25	今回の資料の修正のポイントとしては以上でございます。
00:14:31	セット。はい。じゃ、そのままあれですかね、出征予定の内容とか何かそこまで入りますか一旦ここで、
00:14:40	規制庁がファイリング
00:14:42	していただいて結構かと思いますがはい。
00:14:45	店長の2人ですね修正予定の内容って、別記2ほどのあたりの話でいこうとしてんでしょ。進め方に近い話。
00:15:02	はい。日本原燃一緒でございます。はいちょっとイメージとして口頭で伝えるだけになってしまいます現状まだ一生懸命作業をしているところですので、提示はできないというところでただ具体的にどのページのこの部分をどうしたいのかと。
00:15:17	横は説明ができるようにはしてございます。
00:15:21	規制庁樽井です。いや、とりあえず最初の方のページから行くっていうことでいかせていただきます。
00:15:28	まず、つまりちょっとまず認識をしっかりと合わせたいんですけど進め方のヒアリングでやってるやつと、今回のヒアリングでやってるやつって資料の時系列的に言うと前回の進め方に前々回かな、
00:15:39	前々回の進め方ヒアリングの場で聞いたやつの方が更新されたりはすると思うんですけど、そういった内容は、どっかほ漁協補足する、次回の進め方ヒアリングでやるって話だけ。
00:15:52	はい。日本原燃一条でございますこれが、そうですねテレコになってもうだんだん私も今日やってきましたけど、前回お約束したのは個別補足とかリストを追加をして整理をして追加をしていく、京都上にですね最終的にしていくつもりですけども、
00:16:09	その整理の考え方とか具体のものについては今後の進め方の部屋でやらしていただきたいというお話をさせていただいてました。おそらくそのときにですね合わせて、共通移動反映していくのかっていう話も含めて、
00:16:23	しないといけないなと思いつつも、タイミング的にちょっとおかしな状況に今なってると思ってますはい。
00:16:31	はい。清ておったですね資料はそうだろうなと思いつつ、今日のヒアリングでどうするかっていうところなんすけど準備もできてないんですっ

	ていうところをもう1回言っても前回ヒアリングと同じようなこと言っちゃうんで。
00:16:43	今日の時点では、そこはまだ説明できる状況にはない。
00:16:54	はい宮城西原でございます。はい今日の時点ですらできるとしても何ページというところ、具体的に言いますけど、
00:17:09	資料2の表ですね、例えばプリンターリーク等、
00:17:16	に98ページ、97ページとかの表のところ個別補足との関係だったり、設計説明グループの代表の陸であったり、こういうふうに整理をしていこうと思ってますと。
00:17:32	いうことをここでは申し上げられますが具体的にこの、その結果をお示しできる状態になってないというのが現状でございます。
00:17:42	規制庁とリエス、古山さん、的場稲井資料にどんでもよくないのでそのタイミングで、少し補足できる限り説明してもらおうとは思ひ
00:17:50	というわけですねまた頭に戻らせていただいて、表の下で言いたいところベースに行くんですけど5ページぐらいから類型分類の話がされていて、
00:18:01	9ページとかそこらんとこも含めてなんですけど最初
00:18:04	の話は今日はスルーしないでいうと、
00:18:10	はい、日本へ2社でございますはい、申し訳ございませんが今日の時点ではできません。
00:18:15	はい規制庁たリースってそれに関しては衛藤。
00:18:19	進め方ヒアリングは来週資料示して来週の金曜日の進め方ヒアリングまでには整理しようとしてる弁理士だけ。
00:18:26	はい、日本ギリシャでございますはい。おっしゃっていただけてる通りでございます。前回もやりとりがあって私から回答したのは、74、21、21までかける気はないですけども大きくは見、
00:18:38	津野段階の今後の進め方ケアを使いながら、再処理の設計説明分類の設定あと説明グループの設定後どこで代表として説明するか、MOXでやってるような個別報告の整理も含めて一連やっていくというのが前回回答した内容でございます。
00:18:56	はい規制庁たですなんで当然10ページとかそこら辺、
00:19:03	あれは、
00:19:10	そこは今のタイミングでも仕方がそうなんで状況だけ確認

00:19:13	いただいて、説明の中で右下 19
00:19:20	別に何か、
00:19:22	ある程度は
00:19:24	ないような、
00:19:31	はい、宮城理事長でございます追加の情報はございません。それを文字化しただけということでございますのでだけけれども大分語弊があるかもしれませんけどだ、そういうことでございますはい。
00:19:42	はい。規制庁土肥です。MOX の MOX の中でグループ分けしてそれをどういう順番でやるっていう話に関しても、昨日のすすめ機能でいいですかね進め方ヒアリングでやった以上の情報は、
00:19:55	今んところないです。
00:20:01	はい。日本原燃車でございます。はい。追加の情報はございません。
00:20:06	古作です。
00:20:07	今のページあたりとりあえず追加はなくてただ張りつけましたみたいになっているんですけど、ちょっとよくわからないのは、
00:20:18	これ、今後のただ貼りつけるのかみたいなことがあって、
00:20:23	その前の 16 ページまでで、
00:20:29	数ページにわたって分類だけのものがついてるんですよ。
00:20:35	これと今のページってどういう関係にあって、共通順位で何を、
00:20:40	どう整理していきたいなっててもわかんないんですけど、どういう考えなんでしょう。
00:20:47	はい。二本木西田でございます。はい。まず構造設計等を合理、合理的、かつ、類型化をしてどう説明していくのかと。
00:21:00	必要なことですねっていうのが共通に例の一番大枠の課題だと思ってますので、そういうことをどう組み立てていくのかの考え方を本文上は示さないといけないと思ってます。
00:21:12	今おっしゃっていただいている通り、設計説明分類、説明の進め方みたいな事がバラバラに書いていますが、本来の目的をどう達成するかということ考えた場合には、
00:21:26	それをどう組み立てていくかの全体の考え方があって、その中でどういうものを 1 個ずつ決めていって、トータルどういう答えに持っていくのかっていう流れで本文が書かれていけないといけないと。

00:21:39	いうまず認識でございます。そうならないっていうのも認識をしておりますまして直さなきゃいけないというふうに思っておりました。以上です。
00:21:48	補足です。説明方針みたいなのは、
00:21:56	今日の資料だと 20 ページ。
00:22:00	以降の表で、話をしていたところですけど、
00:22:04	共通 10 人にその考えなりなんなりをまだ落とし込めていないので、落とし込んで次の段階では落とし込んで、その際には、
00:22:14	17 ページの表と、今、
00:22:18	20 ページ辺りのところとの関係を整理をして、必要、必要ないなら一つにまとめちゃうし、というようなところで、整理をして提示しますっていうことですかね。
00:22:31	はい。二本木リーダでございますはい。おっしゃっていただいている通りかと思えます。設計説明分類を決めるのもあとそれを基にしていろいろな説明の順番を考えるともう、全体一通りの流れとして、
00:22:45	行う行為ですのでそれぞれバラバラとアウトプットの性というよりは、考え方をしっかり決めて、それに基づいてどういう説明の仕方にするのかという最終ゴールを示すという形に、本文も、
00:23:00	修正をする必要があるという認識でございます。
00:23:06	はい。付則ですが起こりますと、
00:23:12	等、
00:23:17	その上で、
00:23:21	後半部分でそこ、いまいよいよわからないと思えます。は順次行っていく。
00:23:25	はい。とりあえず、
00:23:28	手渡しですちょっと何か関連するやつ。
00:23:31	耐専
00:23:31	現場が難しいと。
00:23:33	けど、とりあえずからやるのがわかるかなと思ってから行かせていただきますと、
00:23:37	23 ページから参考資料が乗かっていって、多分ここは今回は行ってなくて資料 123 の構成があってで、資料 3 の中で資料 3 のところでも送

	りつけましたとかっていう話あったんですけどその中で、それぞれどう説明するかというところになってると思うんで、
00:23:53	構成の説明があって、今 27 ページとかのところ表の項目全部抽出してきてるわけじゃないと思うんですけど、このあと表のところ、資料 1 側で具体的に聞いた方が早いような気がするんで、
00:24:04	とりあえず、
00:24:05	フォーマットととらえて、具体的の中身として資料 1 以降に行かせていただければと思うんですけど、念のためここまでで他に何かあれば、
00:24:13	規制庁古作です。
00:24:16	25 ページなり、26 ページになりますと、
00:24:24	いうので、資料 1 はこういうものですが資料にはこういうものですねって書いてあるんですけど、
00:24:29	実際に後ろにつけているやつだと資料 2 に別添が入ってるんですけど
00:24:36	とかだったりで、何かここで言ってる全体像 t。
00:24:40	いうのはまたちょっと違う言ったようにも見えちゃっていて、何でそうするんだったらこっちで示さないんだろうとかっていうのがよくわかんないんですけどそのあたりはどうでしょう。
00:24:52	はい。弓削西浦でございますはい。まず、別添 1 をつけたのは資料 1 の別添として付けてます。ただおっしゃっていただいて全体構成を直しながら、
00:25:04	進んでいって、全体整合がとれてないというのが実態だと思ってます。申請対象設備等、設計説明分類。
00:25:14	変更である関係する条文、加えて、今回は基本設計方針とのひもづけというのもやっていますので 26 ページの資料 1 としての目的も本来であれば書き換えないといけないと、いうことだと思ってます。そのベースをしっかりと合わせて整合とっていきたいと思ってます。以上です。
00:25:39	規制庁の田尻です今触れていただいたんですけど今の説明例えば 39 ページからと資料 1 の別添 1 っちゅうやつがいて、そっからターゲット滑って 21 年、
00:25:50	前にですね別添 20 やつが、72 ページの下から行くような形になってるんですけど、頭のところで、こいつ、いや、要は分けて書いているのは、

	ここではこいつを説明したいからちゅうのはっきりしといていただきたくて、
00:26:03	特に今後の所資料とかもいろいろの中で、昔から申請書に添付している設備リストとかもある中で、いろんな表が出てきているんですけど、目的ははっきりしないと。
00:26:14	結局こいつなのか見るんだっけじゃ話になるような気が先生合わせればいいんじゃないかみたいな話も私なきゃいけなくなってしまうので、まず目的意識として、この表は、こいつを説明するためでもともと一つでまとめるやつを、
00:26:25	分けたほうがいいから受けたちゅうんだったらその説明してしまえばいいだけの話。
00:26:29	その辺を意識して
00:26:31	参考資料ということにつきましては、小松の説明資料なんだと思うので、そこがわかるようにしていただければと思います。
00:26:40	はい、乳井西様でございますはい。まず一つは、恐縮でございます我々の施工は我々もあんまり頭が良い方ではないので我々の思考として1個ずつ積み上げてやっていることの全部のアウトプットを見せると、
00:26:55	これとこれ同じこと言ってるように、非常に話が錯綜してしまうので、我々の施工は施工であったとしてもアウトプットで見せるものはちゃんと目的と合致するかつ効率合理的な資料の形にさせていただきます。
00:27:11	全部を付けるというよりは目的が達成できる形にしてさせていただくということを施行させていただければと思います。そういった点でバラバラと物をつけてしまったところは、
00:27:23	こちらとしての失敗だったかなと思いますので、改めて整理をさせていただきます。以上です。
00:27:30	はい。規制庁藤ですよろしくお願いいたします。
00:27:33	あ、古作です。ちなみにですねさっきの話と繋がるんであれですけど、
00:27:37	別添1で、70ページにありますけど、これ先ほどの共通準備の本体側に書いてあったのと、何が違うんだっていう、
00:27:46	感じになってんですけど、本体でやるのと、こちらの添付でやるのって、
00:27:52	すみ分けは何か考えてます。

00:28:00	はい。乳井西浦でございます。考えてますかと言われると考えてない結果がこうなってるというふうに思ってます。はい1個ずつ、こうやって整理をする超えて整理をする、結果としてはこれとこれ言ってることを一緒にやるっていうふうになってるんだというふうに認識をしておりますけど。
00:28:17	はい。そういうこともちゃんと検討した上で資料を提示させていただきます。以上です。
00:28:23	はい。補足ですわかりましたその上で、本体側で説明するのかこちら側で説明するのかということで整理をしていただいてそれに、
00:28:33	それ一の考えが先ほど言われた本文のところでしっかりと書きくだされて、資料1では何を説明する。
00:28:44	或いは資料1の別添7では何を説明すると、ということでの意図を明確にされるということで理解をしましたよろしく申し上げます。
00:28:56	はい規制庁当日ありがとうございます。それではさっき発生時間ちょっと資料一位に行かせていただいていたんですけど、
00:29:03	資料1に関してなんですけど、まずすみません前提で
00:29:07	多分始まったころにその会話やったような気がする。
00:29:12	ウワー。
00:29:12	基本的には同じところに希望がつくように整理してってるということでしたっけ。
00:29:20	はい。弓削西原でございますはい。そういう作業をしておりますはい。
00:29:26	はい。規制庁谷井です。
00:29:29	広い人だったら0とかのレベルになるやつがここだとAとかBからB4とかっていう分類で分けながらっていうところを書いてっているんだと思うんですけど、これ例えばなんですけど、
00:29:38	下の対処グローブボックス等のところだと思うんで、グローブボックス等とかのところ、設備リストのところだと基本設計方針にまとめて記号をつけてみたいやつをいたりしたと思うんですけど。
00:29:48	甲斐のやつってそういうところも表してるんですよ。
00:29:52	そこは省略。
00:30:02	規制庁谷です二本木です。かまずですね多分やりきれてないと思っております。一番最後の基本設計方針みたいに塗ってる月、

00:30:12	これ、今回もこれも整合とれてない形で、すいません資料にまで来るときさすがに設定できないので、書いたりしてるんですけど資料について上そまでフィードバックでやってない。
00:30:24	というところもあります田んぼた基本方針にしたところは別にしたら、
00:30:35	申請対象設備首都情報だと、一番後ろに丸が打ってるものも、この資料の中で展開するものをそれぞれの設備欄のところに何らかの記号を入れると。
00:30:46	いうことが必要ではないかと思っておりますがまだそこまで切っていないということでございますはい。
00:30:52	はい。市長の館です。
00:30:54	要は資料でちゃんとチェックを取って印がついて欲しいというのがまず前提にあってで、例えば外部次長とかだと、これ多分建物内だから今回グローブボックス等とかいうと全部バーになったりすると思う。
00:31:05	ですけどそこは一応セット共通の業績方針がかかってるっていうふうに多分設備リストの方だと読めるような、
00:31:11	たりする
00:31:11	ので、今回の構造を見ていく上では結局外の建屋で見てるんでっていう話で終わってしまうところだと思っはいるんですけど、あの考え方どっかに書いてもらえればそういう考え方なんだっていうふうにわかるような気がするので、
00:31:24	わかるように、で、一番上等は成功にならないで欲しいですあの評価が出てきて、こっちではつけてるけどこっちではついてないというのが見つかり始めると、結局またチェックするの時間が無駄にかかってしまう気がするので現時点では精査し切れないところもあるってのは理解したので、
00:31:40	よろしく願いいたします。
00:31:44	はい。日本原燃正田でございますまず承知いたしました。おっしゃっていただいたように外傷関係でいくと建物の中で防護しますって、建物自体の設計を第1回でやっていってその中に入ってるっていうのが今回の
00:31:58	設計だということで、
00:32:01	申請対象設備リスト上も施設共通の中で丸をつけてます。今回、とはいえですね、申請対象設備リストに書いた時にはその説明をしないといけないと、配置設計として、

00:32:15	いうふうに思ってますので、そうすると、何らか、施設共通気行政講師に入れたもの、中期での記載も含めて整理をして整合がとれるようにという形で、
00:32:27	示させていただければと思います。以上です。
00:32:30	はい。規制庁藤ですよろしくお願いたします。
00:32:33	はい。ちょっとこの表
00:32:35	忘れてしまったんで1点か
00:32:36	けど。
00:32:38	ナンバーでいうと242一般とかのところでグローブボックスがいて、今
00:32:45	切り既設工認からの設計変更の有無というところで火災があってまだ気密パネルとか何年かしますよっていいんですけど、変更区分で新設って、
00:32:55	どういう時でしたっけ一応何か。
00:32:58	するやつも、こういう変更しますよってやつも全部新設と分かれてるんですけど。
00:33:04	大変でしたっけ。
00:33:05	はい。乳井根井氏でございます。まずそういう意味でいきますと、その使い分けが今整理しているのは、再処理とか廃棄物管理は、キリン。
00:33:16	施設があるので、新設改造をかな、何か項目があります。MOXについては、ものが今ないということで、この変更区分があまり意味がない形になってて、全部新規に
00:33:29	なってますというのが現状でございます。
00:33:32	はい。規制庁谷です。何か意図は要は、新しく作る作らないで書いてるような形になっている地域になってます。以上でございます。
00:33:42	規制庁館です。タイムラグがあって今田尾鵜田2000トンありましたけど今、67ページとかのところで、多分今言われたような
00:33:49	変更区分の判例とか、
00:33:53	ちょっと確かに目算特殊なところではあると思うんですけど、今回例えば資料3のところとかで、設計変更について説明しますよっていうふうに言っていて、さっき言った既認可からの変更点のところでは、変更があることを示している。
00:34:07	ていうのと、何か変更区分があつてないような気はするので

00:34:12	再処理と考え方が違うんでっていうんだったらその説明を書いてもらえばいい話だと思うんですけど、現状でいうと新設ってさっき言った 67 ページのところだと、
00:34:22	新たに設置するものっていう意味で新たに設置するんですけどっていうことなのかもしれないけど、民間の認可事項との関係で今どうなってるのかっていうところもあると思っているので、
00:34:32	差をつけるなら差をつけてそこがわかるようにだけ書いていただければと思うんでよろしくお願いします。
00:34:39	はい。乳井 0 社でございますまず、そうですねはい。一つは今、
00:34:46	別となって、今、分けになってるかは、正直今 2-1-2 の変更の開示で、変更と期に新規分だけなってるかは、正直今の変更等、
00:35:01	いう状態になってますただ一方
00:35:03	前回前回、全連会かな。審査会合でお示しをした時にあれか最初、MOX の申請内容を説明する時にこの再処理でやった A とか B の分類をどうするんだというときに確かに私も、
00:35:18	説明をしたのは最初に理由、新規は、MOX では、従前から申請認可を受けていないものを対象にします。既設というものは、すでに認可をもらっているものを対象にしますという整理をしますと言っていましたので、
00:35:34	それとの整合も図る形で整理をさせていただければと思います。以上です。
00:35:39	はい。規制庁谷です。そこの考え方の整理があるからこそ、各条文ところで A と B の差が出てくるものだと思っているので、極端な新設っちゃうんだったら全部 0 じゃないかっていう
00:35:50	なっちゃうような気がするところ今石原さんが言われたように、臨界 1 回受けてるやつと受けてないで差をつけますよって言って、認可受けてるやつはそっからの変更って、設置購入を説明すると、そっからの変更点です。
00:36:03	B の分類にしていると思っているので、
00:36:05	単に資料の整合の話になってしまうかもしれないんですけど
00:36:09	横で見た時に合うようにだけしていただければと思うんでよろしく願います。
00:36:15	はい、乳井下司屋でございます承知いたしました。

00:36:19	規制庁の、すいません。規制庁小阪ですちょっとさっき言っちゃったんで戻って申し訳ないんですけど。
00:36:25	資料3の書き方っていうところのページ、
00:36:31	です資料3の時に話をしてもよかったんですけど、
00:36:34	ページ数は35ページかな。
00:36:41	ここ説明方針っていうので緑枠囲んでいて、後段の説明グループでとか何か書いてあるんですけど、
00:36:49	これ後段のって言われたんじゃないけどどうすんだかさっぱりわかんないと。
00:36:53	いうことがあって、先ほど、
00:36:57	整理、今後するんですねって確認をした20ページとかでは、いつって書いてあるのに、何でこっちでは書かなかったんだっていう、
00:37:06	どうの考えだかを、あえて書かなかったのであれば考えを説明してください。
00:37:15	はい。日本原燃石原でございます。
00:37:18	まずは、この整理が追いついてないのは私の責任でございます前の方でどのグループで説明するかって書いてあるところを、
00:37:29	ここにも替えをしないといけない状態でございます。先ほど申し上げた資料3に来る前にですねそもそもこの前の資料2の段階で、
00:37:40	どれを代表にしてどの説明グループで説明をするのかというのを明らかにした上で、どれを合体する等この資料35ページにあるような形で、資料3の頭で、
00:37:52	何、どここの説明グループでどれを代表に説明をするので、そのグループでの資料を見てくださいという形になるという紐付けで、修正をしようと思ってました。はい。
00:38:06	古作です。まずは、ちゃんと書いてくださいねっていうことなんですけど、実態でいうと、
00:38:17	そのグループのグルグル。
00:38:21	グループ。
00:38:22	Aグループ、済みません目次を見た。
00:38:31	資料3の目次っていう、
00:38:42	クオリティ、
00:38:47	資料3の本体側に行っちゃうとちょっとあれなので、

00:38:53	29 ページ。
00:38:55	見ると、
00:39:01	今の表は、
00:39:03	どこに。
00:39:05	なってるかっていうと、
00:39:11	どこだっけ。
00:39:12	利上げね者でございますカッコ一番目次の後、基本設計方針に対する紐づけ整理結果ですね。
00:39:22	資料でいうと 264265、266 に分かれて、
00:39:27	ついてるんですけど、結局すいません。他、他厚木のグループとか何か、ざっくり考えないと駄目なんですけど、
00:39:32	古作です目次の次に、
00:39:36	あってそこから (1) の 1 っとなるとなるこの表はどういう位置付けのものなんだっていうのもまたよくわからなくてですね、何か次は議員していったってどんどん増えてね何だかわかんなくなってるっていうのは、
00:39:49	先ほどと結局指摘は一緒なので、最終的に整理をして、ちゃんとわかるような位置に位置付けを整理をしてという古藤なんですけど。
00:40:02	等、
00:40:08	と今野瀬。
00:40:09	説明グループとかって言うのって、結局資料 3 ではどういう形になるのっていうと、
00:40:15	説明グループになってなくて、説明分類で、(1) (2) (3) っただけなんじゃないのかなと。
00:40:24	思うと、
00:40:26	何か予備飛ばし方って違うんじゃないっていう気もするんですけどどうなんですかね。
00:40:36	はい。人間ネシアでございます。はい。そこも新しい考えをどんどんどんどん入れて広げながら、元に戻れてないっていうのを、
00:40:49	最たるもんな気がします。はい。設計説明グループ説明グループというのを新たに作ってあるまとまりを決めましょうと言った時には、当然そのまとまりには、
00:41:00	設計のリンクがあるから、まとまりを作っているはずなので、

00:41:04	資料3もですねパッケージ的にはその説明グループとしての一つのパッケージというのでないと、もともとの施行からは、
00:41:14	合わなくなるような気もしますのでちょっとそこも含めて、考え方を整理をしたいと思いますはい。
00:41:24	補足です。説明グループというのと、分類っていうのふた あるんですけど、
00:41:30	グループ、
00:41:32	少なくともどういう順番でやりますかといった時にグループで整理されてるのはわかってるんですけど、資料3でもそこを表すってことなんですか。
00:41:44	はい、稲毛西田でございますそこをちょっと思考はのちょっと考えさせていただきたいと思い、今思いました設計説明グループってのは一つ一つの設備を見た上での、
00:41:56	ある塊を作ってこれの中で代表的なものを使いながら説明できるよねという単位を決めています。一方、ケア説明グループというのは、
00:42:07	その設計を説明する上でひもづけ設計としての規模三谷リンクがあるので、いろんな設計説明文に合わせて説明した方が、
00:42:17	ある種、例えばグローブボックスの設計が1固まりで説明できますよねっていうことを言ってるだけなので、どういう単位で、この資料さを求めるのがもともとの目的が達成できるのかってのを考えて、
00:42:30	構成を決めればだ決めていければなと思ってました。はい。
00:42:35	古作です。それで言うとはですね、グループで変に資料費、
00:42:42	ばってもしょうがないような気がしていて、
00:42:46	やはりその分類の方でのところでどこの分類のものを見てくださいというのが、
00:42:54	基本なんじゃないかなと思います。で、その余飛び先を見に行こうと思ってもまだですよっていうのが、初期だとあるので、その時には、
00:43:06	飛ばした先でまだですって書かれてもがくつきちゃうので、そのところで、飛ばし先を書きつつも、まだ出すって、この表に書いておいても、
00:43:17	ちょっといいのか。
00:43:19	思い、

00:43:21	MaaS で、まだですといったときに説明グループ率でとか、いうことが書いてあれば理解ができませんじゃないかなと。
00:43:34	はい。二本木西田でございますはい。ありがとうございます。承知いたしました。
00:43:41	結局はどの設計説明分類のを、どの設備で説明をするかという話ですので、そういった紐づけをしつつ、それがいつ登場するのかと。
00:43:52	まだまだだということのステータスがわかるように、飛ばし方で何の書き方を考えたいと思います。以上です。
00:44:01	はい。高速です。
00:44:04	窃盗、何かす。
00:44:07	条文のこの基本設計方針番号の対応する説明っていうのは別の分類で説明します。そこ、
00:44:18	それが代表なのでそれに含まれますと、
00:44:20	ということでレバー飛ばすだけでいいんだと思うんですけど、
00:44:26	そちらの説明グループの際に、こちらの分類2の資料も直すっていうことってあるんでしたっけ。
00:44:37	はい。日本原燃石原でございます。あれと思ってましてそれが、ページでいくと、
00:44:45	21 ページとかを見ていただくと、
00:44:50	今
00:44:52	見ていただくと、例えばですけど、説明グループ2にきて10番11番12番15番で代表で説明をし切りますというのであれば、
00:45:04	163の項目はここに書かれないんですけど、ここまできて、1と6と3を使いながらそれと代表にして説明をしますという意味で、再登場させてますので、
00:45:16	この時点でこの資料が追加をされるということのイメージを持ってますので、そういったところも交通整理をしっかりとっておかないとぐちゃぐちゃになるなという認識は今も持っておりますはい。
00:45:29	はい。補足ですわかりました。そうすると今の163は、説明グループ1の段階で、は向けの形で資料3が作られ、
00:45:40	その際にわあ飛ばすものっていうのと自分のもので後段で入れ込みますということが色づけされると。
00:45:49	で、グループ2、

00:45:52	の説明段階になるとその歯抜け部分だったものが入ってくる。
00:45:56	いうことうで理解をしました。
00:46:06	はい、宮城西田でございます。はい。ありがとうございますそういうイメージでございます。21 ページに今年への説明グループ 3 番も同じように、再登場する人が出てきますんで、
00:46:16	そこも、資料 23 の段階でということがわかるように、説明示し方を考えたいと思います以上です。
00:46:26	はい、古作です。35 ページの所で、それがここ資料 3 を見るときに、認識しながら確認ができるということなので、
00:46:38	その点ではこの表自体は意味があるなと思って見てますのでよろしくお願いします。で、
00:46:46	そうですね。もう目次とどういう関係にあるのがいいのかっていうのは
00:46:52	少し考えて、おさまりのつくように入れてもらえればと。
00:46:59	はい、与儀西田でございます。はい。承知いたしました。
00:47:06	はい。ちょっと 2 ですね、一応、そのままちょっとつまり自分の方から少し見えないところで確認させていただければと思うんですけど、今別添 1 がして、
00:47:15	これ、
00:47:16	いや、資料 1 と表の話で他の方あったらまた後でお願いせず、
00:47:21	今、
00:47:22	何で確認なんですけど今別添には
00:47:25	72 ページから表があって、
00:47:28	処分濃度の基本設計方針型の設備に紐付けます
00:47:31	分かれていて、
00:47:33	そういう資料にも少し絡んで、
00:47:37	資料 2 として、
00:47:38	要はこの条文の業績方針が設計分類のところに関係しますよってというのが書かれているところなんですけど。
00:47:45	今言ったよう
00:47:47	この条文のところはこいつを代表にして説明しますよみたいなやつっていうのは、どこではっきりするっていう話でしたっけ。ちょっと今何か説明されたような気もしたんですけど。
00:47:56	何か資料は 3 年車でございます。

00:47:59	はい。資料2の中でそこを、これも資料にも、どんどんどんどん追加されていくんでそれも踏まえた上で資料2の中で、
00:48:10	どこを代表にして説明するのかっていうのがわかるようにしていきたいと思いますノースを求めたものは、今表として91ページ以降についてますけどこの表で、
00:48:20	どれを代表にするかも、明確にできればなと思ってました。はい。
00:48:27	規制庁谷です。後で資料2のところでも触れようと思ったんですけど要は資料2で、項目番号基本設計方針が書かれていてその中で、例えばグローブボックス等の話とグループと同等というのが並列で書かれていたりして、
00:48:41	多分設計通りの考え方あんま変わってなかったりするんで後でこいつの代表性とご説明するのかなと
00:48:47	ところなんですけど、結果上がるところに行くのが今日はグローブボックス等までしか示してないからちゅうことかなと思っていたんですけど、今おっしゃられたように91ページとかのところの結果がわかるようにしてもらえると、
00:48:57	後の内容もだから同じ内容だからここに代表になるのねっていうのがわかるような気もするので、その点ご検討いただければと。
00:49:07	はい。日本原燃庄田でございますが、全体の構成とどこで何を見せていくかというのをしっかり整理しながら、構成も含めて考えたいと思います。現状先ほど、変更しようと思ってるところ後程と言いながら、
00:49:20	の中身に入ってますので、今、
00:49:24	例えばですけど、97ページとかの資料2の中で同じ基本設計方針2、いろんなものがぶら下がってきますこれが正しく
00:49:36	どれを代表にしてどのグループで致命傷とか、なぜそれができるのかっていうことの、もう、
00:49:44	明示をしないとですね後の資料とのリンクも含めて説明がないとかわからなくなってくるので、この資料2の具体のですねフォーマットをいじろうと思ってまして、設計説明グループ、説明グループの考え方とかです。あと個別速度のリンクも含めてこの資料2では、
00:50:03	四つを足して、それぞれのところでそういう疑問を見通しながら説明をしよう、その中身のところでそういう代表をどうするかって決めたものが、

00:50:13	プレパッケージ生徒 91 ページ以降の丸付けの中でも見えるという形で整理をしようかなと今思っていました。はい。
00:50:20	規制庁の田尻です。次の資料の時に聞こうかと思ったんですけど資料 2 って今のためにいるんでしたっけとか聞こうと思った。
00:50:28	今言われたように、結局代表性、代表選手を選ぶところの考え方としては、
00:50:35	今の資料に書かれてるような内容のところも踏まえながらやった方がいいからそこの関連作りの表に変わるっていうことで何か資料 3 の内容と資料 2 の内容が、
00:50:44	資料 3 の方がちょっとプラスアルファで書かれるような形になって、どう説明していくのかなと思ったんですけど一応そういう検討されているということなんです。
00:50:59	はい。三野石原でございます。おっしゃっている資料 2 でどこまで書くか、資料 3 は、個別具体的話になるところもあるので、
00:51:10	とはいえ資料 2 でいろんな徹底説明分類が変わってきますんで、ここである程度設計としての大枠を言っておかないとそこで代表の選定の説明もしづらいというところもあります。
00:51:22	全体のバランスだと思いますけども、それぞれの資料の役割をしっかりと決めて、
00:51:30	今日は、
00:51:31	今日はネットの調整がファイル。
00:51:34	はい。資料 3 と資料 2 の役割も考えながらどう、どこでどうくかを整理していければと思ってました。
00:51:42	市長谷です。この 26 ページとかで資料 123 の位置付け書かれてるやつと、別に整合ではあると思ってないのでどこまでの情報を入れながら、その目的を達成するための内容にしていきますよということかなというふうに思いましたので、
00:51:56	達成について説明いただければと。
00:51:59	資料 1 について自分から異常なので他の方あったらお願いいたします。
00:52:08	規制庁上出です。資料 1 で、
00:52:13	39 ページで話を聞けば、
00:52:20	一番上の欄で、今回耐震側で

00:52:25	項目がいっぱい書いてあったというところとちょっとまとめているっていう感じなんですけど、この辺り、どういう考えで、こういう項目立てにしているのかって説明できます。
00:52:47	はい。二本木西田でございます。はい。
00:52:51	もともとあれですね前回、枝葉も含めて書いていたものの、
00:52:59	一番上にトップに来ているものを大体集めてここに書いたつもりではあります。ただちょっと確かにでこぼこがあったから、
00:53:10	うちのポットでもないんだよね。
00:53:14	はいすみません、何か整理できそうな気がして仕方がないので、もう1回ちょっと整理しますはい。
00:53:23	はい。規制直感です。あと
00:53:27	何だろう。何のために、このフラグを立てるのかっていうのもよくわからなくて、
00:53:32	こう使っていきますっていうのも整理が必要なんです。
00:53:37	何かいろいろあるんですけど、とりあえず今、6項目挙げてますけど、使ってるのって、1項目だけなんですってね08件の1項目だけであと全部バーなんですよ。
00:53:49	だから、
00:53:50	そもそも何なんだっていう気もしてますが、その辺も認識いただいてますか。
00:53:55	はい、日本エネ社でございますはい
00:53:58	そうですね何をやってもクソ1個しかないっていうところはあって、これ最初のところで全部使うんですけどそこも含めてちょっとどういう整理をするかを考えたいと思います。
00:54:11	藤規制庁管理図で、とは言っても、242番のグローブボックスなんかは、
00:54:18	6条のところ見に行くとB1に今回は、
00:54:22	この後、空港のところに行くとピットももらってるんですね。なんでかっていうと、2分の1SDの元なるSD変わりましたからってなると、
00:54:32	変更箇所として、設計用地震力の設定みたいな項目のところ丸がついてしかるべきなんじゃないかなあと思っているんです。なので、何かすごい中途半端な状態で資料が出てきたなと思ってあんまり見てないんですけど。

00:54:45	整理いただけますかね。
00:54:53	はい、乳井西原でございますはい。大変失礼いたしましたはい。もう一度、それぞれの対象物の設計図書の考え方、対象、
00:55:05	何を対象にするかっていうのを整理をして、
00:55:07	マルつけとも整合させます。はい。失礼しました。
00:55:14	はい、規制庁パミスと私の方から資料1については以上です。
00:55:20	規制庁の藤原です。私のほうから資料1の、このリストの関係で、申請対象設備のリストの整理の仕方がちょっと記憶が、
00:55:32	記載の例
00:55:33	がちょっと記憶が、
00:55:35	にしたいんですけど、
00:55:37	兼用の欄に、
00:55:40	周中が入った場合、首藤中で、一行ずつ作られるっていう整理をしてきていたのかなと思ってるんですけどまず、
00:55:50	伊井です。
00:56:01	ケーヨー。はい。
00:56:06	規制庁の千葉です。条文が始まる手前の左側の3、別にぐらい。
00:56:14	専用の欄に主従が入っていて、物によって主、DBの方多分周っていうふうにしながらも物によっては、DBの中でも主従があるかもしれないんですけど、
00:56:26	例えば、
00:56:28	452番なんかは、
00:56:30	主要のところを見ると、工程室排気設備っていうのが主であり、中が二つあって、外部放射線へ放出抑制設備ではなくて、SA関係のもの。
00:56:41	で、中も1個あって、排気モニタリング設備
00:56:44	ゆまかし測定系のものになるのか。
00:56:48	とかっていうのがあって、これ。
00:56:50	452番でいくと、産業、
00:56:53	出てくるっていうイメージでよかったんですけど。
00:57:12	はい。日本原燃石原でございます。
00:57:14	少々お待ちください。

00:57:50	はい、二本木西原でございますはい。おっしゃっていただいた中が1項で中が二つある場合は設備としては三つそれぞれ出てきますので、三つなんですけども、
00:58:01	問題は一つあって2回の申請対象か3回なのかによってこの設備リストが出てくるって答えが分かれると思ってました。
00:58:10	菊池の藤村です。
00:58:12	はい。
00:58:15	難しい整理の仕方をされて、
00:58:19	452番でいくと、気になってたのは、その工程室排気設備が主であり、その中が二つあって、これと同じものってどういうふうにわかるようにこの
00:58:32	中の外部抑制場所効率抑制設備になったときに、この452番と、
00:58:51	いいよ、調べていいよ。
00:58:53	はい、二本木西原でございます。はい。
00:58:58	基本的には同じ主従の欄が、そちらにもあったと。それ言うにつけるつもりでいたので、あると思ってたんですけど、台帳ですね今。
00:59:10	質問されてるってことは、
00:59:13	規制庁の藤原です。
00:59:15	物によってでは、ちゃんと整備されてる感がある。
00:59:19	例えば453番であれば、機器の名称があって同じ名称がもう1回出てきて、主従も固定室排気設備と外部放出抑制設備ってなってるんですけど、先ほど例に挙げた
00:59:32	452番の主配管だと、若干その括弧書きの部分ではあるんですけど、記載の仕方が少し変わっていて、本当にこれとこれがまず一緒なのかっていったところから、
00:59:43	少し疑問があって、その時に主事を見ると、
00:59:47	私が一応目をつけたのは400、
00:59:51	71番かな。
00:59:52	が、これの外部放出抑制設備側の記載かなと思いつつその主事を見ると、排気モニタリング設備がないので、
01:00:02	一緒なのかがわからないっていう、今状況なのでお聞きしたかったんですけど。
01:00:08	整備状況どうですか。いかが。

01:00:13	はい、与儀黎士様でございます。
01:00:18	これ一緒や範囲が違うんだよこれ。
01:00:22	はい、二瓶西原でございますここはちょっと専務センターと制御して説明をできるようにさせていただきたいと思いますまずですね今の時点で、高低差廃棄設備のところにはシュガー。
01:00:34	工程室排気設備で12、バンプ補修放出抑制設備等、I期モニタリング設備が書いてあります。例えば外部補正抑制設備に行くと、対象物が10、主になるものの工程室排気設備しか書いてない。
01:00:51	ここで排気モニタリング設備が同乗しなくなります。それは、時としては何をどう考えるかで今主従をどこにどう書くかを分けて整理をしていますけど、
01:01:02	その考え方が書いてあることを言われると、そこまでは明確に書いてませんので、今は我々としては設備の範囲の違いによって書き分けているというのが現状でございますけど、それ多分ぱっと見ると違和感しか多分ないと思うので、
01:01:17	説明を何らか加えるか合わせにいくか、ちょっとやり方考えます。はい。
01:01:23	規制庁の藤原です。はい、わかるようにしていただければと思うのでよろしくをお願いします。
01:01:34	すいません、古作です。今の点で、
01:01:40	町入口になってですね、申し訳ないんですけど、
01:01:43	ダブって書くっていうルールなんでしたっけ。
01:01:56	そもそもの仕様表の書き方っていうところにまでさかのぼるんだと思うんですけど。
01:02:01	ダブって書きつつ、これは兼用設備なんですと。
01:02:06	書くのか。
01:02:12	別の設備を使いますとって方針だけで済みますのかと。
01:02:17	ということで大分違ってくると思うんですけど、仕様表2サブって書いて、
01:02:23	権よってしてるっていうことでしたっけ。
01:02:37	はい。乳井理事長でございます仕様表上は車の仕様表がまだ立っていてその中に、中のものが、こっからここまでがその中としての役割の設備部分になりますよという形で整理をしました。

01:02:54	古作です。今の話は、仕様表としては一つです。そこに兼用するものは、兼用する設備区分のものが付記されてますってことですか。
01:03:17	規制庁古作ですけどそうだとしたらこのリストも一行だけで、複数出てくるってことはないような気がするんですけど。
01:03:37	はい、宮城でシェアでございます。はい。A2、ちょっと整理させていただきます仕様表等も含めて、
01:03:47	この申請対象設備リストを1回どう整理したかっていうにも関わるところではありところではありますけど、頭の整理をさせてください。
01:03:58	同じ設備をターゲットにして確かに仕様表上は、メインを立てた上でサブのやつはどこからどこまでがそのサブの役割を果たす設備なのかっていうところを書くんですけど、
01:04:10	そうなりとおっしゃる通り名称は確かに二つ出てきます。仕様表上ですね、ただ品で立っている使用兵藤どうなるかって言われると、メインのやつが品で立ってるようにも見えるというところでそれと、
01:04:26	この申請対象設備リストと瀬野示し方をどう、
01:04:30	リンク取れてないといけないのでその整理をさせてください。
01:04:34	これあるように一番2番では項目8点ですね。
01:04:37	だよな。
01:04:40	はい。ちょっと指標としてどう示すかってところの整理も含めて合わせて、該当させていただきます。はい。
01:04:47	規制庁日下ですよろしくお願ひします。で、
01:04:55	特に先ほどの話題になったのは配管なので配管だとなかなか難しい。
01:05:00	そもそもが配管系はまとめて書いていたりもするので、
01:05:05	難しさは
01:05:08	機器に比べると大分強くなってるんだろうなとは思いますが、その中で、
01:05:17	AからBの区間とBからCの区間CからDの区間と、
01:05:22	2、AからDまで
01:05:26	1の条文、機能要求、
01:05:30	になっていますと、一方で、AからBの区間は2の条文も対応してます。2から4については3も対応してます。
01:05:41	行った場合には、市の条文に対し、

01:05:46	指定へ書いてあるものについては、2と3が兼用ということになるのに対して、新居側からすれば、1しか兼用していないと。
01:05:59	ということにもなったりするっていうのが先ほどの説明なのかなと思うんですけど。
01:06:05	そもそもそのどういう表の形で書いてくるのかというところを踏まえて、それをどっち、どっちかで書くのがいいのか、なのか、両方書かなきゃいけないのであればそういうことだっていうのがどうわかるようにするのか。
01:06:18	ということだと思いますのです。
01:06:22	元の仕様表との関係っていうのを踏まえながら整理をいただければと。
01:06:34	はい。土産ネシアでございます承知いたしました。
01:06:46	規制庁の田尻です。資料1 金田他のとか何かありますか。
01:06:55	施設長他流通なさそうであれば資料2の方に入らせていただいてなんですけど、
01:07:03	89ページで使うのが89ページからのところで書かれていてで、先ほど話があったように91とか、農協のところで、要は代表
01:07:14	をするのかっていう話は整理されるということを書いて認識したんですけど、
01:07:18	その時に合わせて整理されるかという意味で確認なんですけど。
01:07:21	97ページとか、
01:07:28	今グローボックスのところでシステム10キロが書かれていて、誤搬入とかに関してはNo.10、
01:07:33	D313が103ページぐらいに書かれていてそっちと出てるんだなのというのなんか、一応ここにもグループボックスの分類があるのでわかると。
01:07:43	上のやつに関してはシステム設計にて説明するという
01:07:46	れていて、このシステム設計について今後説明するから、
01:07:50	だから後ろの方に行くと、今回システム設計については、対説明の対策しないでつけてませんみたいな形になってたりなんですけど、
01:07:58	要は多分他の分類ですとところでまとめて説明するからちゅうことかな。
01:08:04	もう、先ほど石原さん言われたような整理をしたらはっきりしてくるようになると思っけばいいですか。

01:08:10	はい。入院西原でございます。はい。その通りでございます。作っておきながら恐縮でございますが資料3の頭に別記なり表が出てきて、後でって言われると、
01:08:21	前言葉よってという期末ので、経営の7ページとかだと、この4番の項目は、確かグローボックスと同等の閉じ込め機能優先設備で、システム設計代表して説明をしますということにした場合にはですね。
01:08:36	この辺、もう一段追加してセ説明グループの考え方みたいなので、このボックスのところは、
01:08:45	グローボックス同等飛び込み機能グループ説明グループで何番のところのこの設備のところで代表して説明をしますと、いうことを、欄をつけて書こうと思ってます。はい。
01:08:56	他のに98ページはずっと聞いてますけどそれぞれ何とか代表選手が出てくったと思うので、その代表等、そのリンクがやるようにさせていただこうと思ってますんでそれを集約すると。
01:09:08	さっきの資料3の頭農協とも繋がるという形で整理できればと思ってました。
01:09:14	はい、市長土岐です。
01:09:16	資料においてその設計部でどういうふうにまとめるのか、ドイツで説明して、
01:09:25	あるんだと思うけど97ページの
01:09:28	鳥羽先がグループ炉
01:09:32	開けるようなやつと合わせ
01:09:36	ノートの方あるこっちでもナンバー13に飛ばしていて、グローボックスの方は飛ばしてなかったんでなお混乱してたんですけど
01:09:43	再ルールも統一はしていただいた方がいいかな、飛ばすやつと飛ばさないやつがいるとややこしくて、飛ばしてないやつはそこで他のところから取ってくれて余計に他のところには飛ばせませんよっていう古藤かなというふうに、
01:09:56	今んとこ理解しているので、No.13にこいつも飛ばすんだったら鳥羽数なり他の番号のところには飛ばし飛ばしでも構わないんですけど、括弧書きかえてない限りはそこで完結してると思う。
01:10:08	見てしまうので、その辺りも記載統一していただけると助かります。

01:10:15	はい。乳井仁科でございますはい。等々、これも出しておいて大変恐縮ですの臨界が一番、状態がひどい形になってまして委員会を特に
01:10:27	4bar ぐらいのところで、大枠の設計を言いながら 22 番に来るところ GIF 設計施設とか、個別の設計を同じようなものが対象やぐ。
01:10:37	個別になって展開されて、それぞれの関係も今ひとつ整理もできてないところもあります。ちょっと飛ぶルールも含めて全体ちゃんと飛ばした先で全部書かれていることを、
01:10:50	便利定率のところはちゃんと書き切ってますよねってところがちゃんとわかるように整理をさせていただきます。はい。
01:10:58	はい。慎重取りです。
01:11:00	わかりやすさの話なのかもしれないんですけど整理いただければ、
01:11:05	つまり、記載のルールっていう意味で、一応確認
01:11:10	けど、
01:11:11	ボックスってやつが一番上に設置
01:11:15	ケーブル類の設計、
01:11:21	ていうのは何か
01:11:25	システム評価
01:11:35	はい。人間者でございますはい。今の記載ルールはですね評価をするときにどれと紐づいているかがわかるようにと思って
01:11:47	このパターンであんまりなかったので、構造設計とかシステム設計と変えてその設置設計の評価をするんですけどっていうのがその下にきて、次いで、整理をしようということやってました。
01:11:58	そうですねこのパターンでいきなりさなりシステム設計が別に出てくると、これ何者よって話になるので、そういうところはちょっと整理をしてわかりやすく、
01:12:08	させていただきたいと思いますはい。
01:12:11	はい。7月あたりです何かここんところでは、
01:12:14	やってなかったんで、
01:12:16	ちょっと、111とかまだいたりはするんですけど、
01:12:19	110 ページでも何かいっぱいそういうのがいたりはするんですけど、ルールが分かれば、まずは設計方針の分類並びで書いていってるのかなと思ったら基本設計方針とも何かそこまで一致しなかったりして、
01:12:31	多分わかり合ったところがあるので、考え方のルール他のところの、

01:12:36	3項でしたっけなんか鍛えるみたいなやつ書いてるところで示してもらおうとかで別に構わないしここんところ注釈つけてもらっても構わないんですけど、何だっけっていうときわかるようにしてもらえればと思います。
01:12:48	はい。稲毛一緒でございます。はい。承知いたしました。
01:12:52	あとすいません規制庁登坂です。今の観点でいうと、基本設計方針で評価系のものがあれば、当然評価っていうふうに行くので、それは1項目で立ってくるから明確だと。
01:13:05	ということだと思うんですけど、そうではなくて、設計方針の中で設計の考え方も述べなきゃいけないし、それを踏まえた評価もあるよと。
01:13:16	ということであると、一つの設計方針に対してシステム設計なり構造設計というものと評価というものがセットで出てくると。
01:13:27	いう時に、評価の内容に応じてちゃんと
01:13:32	一対一というかこの設計に対しての評価ですよというのがわかるように並べて書いてるっていうことですよ。
01:13:42	はい。日本原燃石田でございます。はい。おっしゃっていただいている通り、やりたいことは、はい。
01:13:47	はい。補足です。それはそうしてもらわないと多分わからないんだと思うので、先ほど田尻が言ったように最初の書き方っていうところで、
01:13:58	そういう説明をしていただいてす。できればフォーマットの的にもですね、ど、これに対しての評価ですよっていうようなこととかがわかるように、何か書いている。
01:14:09	もらえると、わかりやすいのかなというふうに思います。
01:14:17	規制庁土佐ですそれです、ちょっとさっきの話とがよくわからなかったんですけど、
01:14:24	これって一、縦軸は設計方針ごとに整理をしているところを、
01:14:30	No.13に行って示すとかっていうのって、何でそうなるのっていうのがよくわかんないんですよ。
01:14:37	システム設計の前提として構造設計がありますよみたいな時は、システム設計の中に、例えば98ページの、
01:14:51	一番上、
01:14:53	で言えば、システム設計で具体的な構造設計については12と、確かにシステム設計の方針の中に構造設計の対応なんて書けるはずがなくて、

01:15:04	前提にしてるのは 12 の方針ですっていうことであれば、
01:15:10	ここで言っている、寸法制限云々というのはそっちの担保なんですということリンクが貼ってあるっていうのはわかるんですけど。
01:15:19	システム設計の中でシステム設計を、に飛ばしてるっていうのは、
01:15:26	なんでしたっけ。
01:15:38	いや、今のやつもあってと。
01:15:40	例えば吉谷は 13 番ていうのは、13 番のに飛ばしてるところの説明という意味だと後搬入防止機構を設ける云々とかって言ってますけど誤搬入防止機構を設けること自体の設計は 13 番に書いてあるところ。
01:15:57	はい、日本ネシアでございますはい。おかしな整理になってるのは、認識をして今どう直そうかという議論の中でしてるところでした。はい。中根さんは英語版に防止機構を設けるというそのシステムを、
01:16:10	設計を説明するという分類で今書いてました。はい。なので確かにおっしゃる通りシステム設計の中にさらにシステム設計が行って、他に飛ばして、全体のシステムといったら誰が下とってんのよっていうのが、
01:16:23	訳わかんなくなってるってのがいい状態だと認識をしています。
01:16:30	古作です。
01:16:34	15 のほうワーちゃんと受けて書いてるっていうことだからいいと思うんですけど。
01:16:40	飛ばしている 98 ページあたりわあ、
01:16:45	な、何、どうなるんですかね。
01:16:57	いや、単純に言うとかこれ飛ばす意味があるのと思ってて、両方あげてまとめて説明しますと言えばいいだけの様な気もするんですけど。
01:17:06	はい、二本木西原でございますはい。拡声器制限機による形状も含めての管理の話は、4 番の項目で説明をし、英語版に防止機構については世間の展開に従って 13 番まで全体を見ていくと。
01:17:24	ということで、変なリンクをとらないで、それぞれのところでそれぞれを適切に展開をしようというのが、今、清に考えている整理の仕方です。
01:17:36	ごめんなさい。ちょっとな、どういうふうに言われたのがよくわからなかったんですけど。
01:17:48	すいませんちょっと私が、
01:17:51	画面の、自分のパソコンの画面の使い方がうまくなくて、項目番号 4 番は読めないんですけど 98 ページが 4 番なんですよね。

01:18:04	はい。97 ページから 98 ページにかけて 4 番が並んでます。はい。今書いてあるのは核燃料物質を使用の相対税としての設備機器のうち、形状寸法を制限し得るものについては、
01:18:19	その形状について適切に核的制限値を設ける設計とすると、いうこと、あとは、質量管理側として継続寸法管理が困難なものについては、グローブボックスをタイトイントの単位として、
01:18:33	質量に対計適切な科学的制限値を設ける設計とするとということを書いてます。あるシステム設計とその単一イントとしての設計をどう考えるかと。
01:18:46	いうところの管理の仕方を、この 4 番でやると、確かにこの 4 番のところですね、これがいいと書いてあって
01:18:58	誤操作等を考慮しても核燃料物質の料金の核的制限値を超えないようなインターロックを設けるということを書いてます。これが保安帽試行だよね。
01:19:09	この話や、何番だっけ。
01:19:14	用 3 番の 103 万 103 ページですね、ここでもこの質量管理として質量管理は、田井知事との第
01:19:25	5 量を常時把握するとともにということ適切なインターロックを設け、設計とするというところで、正木大林としてはこっちが本間楡井。
01:19:35	出てくるという整理かなと思ってますので、
01:19:39	大事にとってその管理をどうやっていくかというシステム設計は No. 49798 と書いた上で、この販 II 防止工自体は、
01:19:50	103 ページにある 13 番でそのシステム設計を説明をするということ整理できればなというのが今思ってるところでした。
01:19:57	規制庁古作です。ようやく意図がわかったんですけど、今言われたことからする等、一番右の欄ここで方針を述べて、
01:20:09	それについてはあっちで説明しますというよりは、
01:20:12	冒頭宣言での整理に近くて、ここはあくまで、他のところで述べてるものと呼び込んだだけなので、本間のところで説明しますよ本丸ってというのは何番ですと。
01:20:26	言ってるってことですね。

01:20:31	はい、おっしゃる通りです。はい。工作年数わかりました。そうすると書き方違うんじゃないかなって感じがするので、少し整理していただいたらいいかと。
01:20:43	はい。表現に一緒でございます。はい。書き方違うんじゃないかというのがまさしくすいません出してからでき構築ですけど中で議論になったところですか。はい。
01:20:55	新沢佐治さんが当然
01:20:58	ちょっと理解が得になったのかもしれないけどちょっとわかりづらいので、検討いただければというところと、
01:21:03	あとそういうちょっと、
01:21:05	これもルールの話になるかも。
01:21:08	開いた 97。
01:21:10	設計分類の考え。
01:21:14	内容っていうのは、
01:21:16	これはあくまで資料 2 としてだけ使っていきたいと思えばいいんですかね資料 3 の交渉設計時にこれを結びつけようとしてるかっていうと、
01:21:23	あくまでこのブルーの間、
01:21:24	設計方針とかの内容のところを、
01:21:27	多少まとめてとか具体化して書いているような形のものを。
01:21:31	で資料にて、その左どなりの分類を書くためだけに使ってる。
01:21:39	はい、稲毛石田でございますはい。まず、回答としてはその通りですということになりますはい。
01:21:45	はい、規制庁滝です。
01:21:47	気にしたというわけでもないんですけど 97 ページで例えば設計分類の考え方で下から 2 段目のところで、古野新居さんとか 241 とかっていう形で、左のところから出てきてない情報、追加しながらか形になっていて、
01:22:00	ちょっと今回後ろにシステム設計の部隊の資料さんがいなかったんで、そこでどうなるのかっていうところはあるんですけど、資料 3 に行って構造設計説明するときは、
01:22:10	これよりもさらに詳しい情報があるから 1 のリンクはなくてもあくまで分類の話。

01:22:16	この分類ですよっていうところのつなぎさえここで書いておけば、資料3でこういった内容も含めて要は資料3では、資料に書かれてる内容が足りてないんですってことはないとまず本当にいいですかね。
01:22:30	はい。二本木西原でございますはい。資料3に行くときさらにこれが具体化されて、資料2で書いてあるキーワードなりがちゃんと紐づいてるような形では、
01:22:42	義務づけるような形では展開されないという認識であります。はい。
01:22:48	谷です。
01:22:49	でも資料にも基本設計方針と、どの店舗に何かハンド添付に書いてます。
01:22:54	資料3に行くと、実際業績方針等、添付書類の実際の記載を持ってきて構造設計を変えていってるので、漏れはないかなと思いつつ、特にこの臨界のところは資料3で見れなかったんで、大丈夫かなと。
01:23:07	ので、今おっしゃられたように資料3にちょっと情報として入れる予定ですと防災認識
01:23:16	成長たりですね、資料2、いっぱいあるんですけど、特に多様な話ばかりだと思ってるんでしょうね資料については事務院長なので、他の方あればCEOをお願いします。
01:23:36	規制庁館です。資料2自体があんまり、ページ数の割に情報量としてはどっちかという資料3とかで見えるものが多そうな気がしたので、
01:23:45	何か後で気になるところあれば、どっかのタイプでもいいので資料3にちょっと入らしていただければと思います。
01:23:52	資料3に行かせていただいて、で、
01:23:55	206ページの160ページから資料3が始まって、こっからに関してはグローブボックス261ページにあるように(イ)のグローブボックスのところにまず限定して書きました。
01:24:08	263ページの方にあるようにシステム設計に関して今回述べようとするのは、
01:24:13	この委員会では、
01:24:18	構造設計とは、
01:24:26	264とか265とか266の話があるんですけど、
01:24:32	こっっていうのは、

01:24:35	さっき、資料2かな、資料2とかで代表の整理をするような話と、この表っているのは後で何か結びつくん。
01:24:46	でも説明方針のところで、どこに飛ばすかとかを具体化するからそこで読めるようになるということできさっき先の話だと。
01:24:56	はい、二本木根井シェアでございますはい。交通整理は資料2の中でできると思ってます。ここの先ほど263の後にこれが確かにおかしい話なので前にいないといけないなと思いつつも、
01:25:11	この後資料3で、今回統合する人が誰なのかっていうのを明示しておかないと言われた瞬間にいないじゃんっていう話だなというので整理をしたということでございます。はい。
01:25:23	という交通整理を資料2側でやった上でそれを形と合わせるとどうなりますという絵姿が、264から260億で見えると、そこで今回説明対象ですよといったものが資料3として後ろについてくると。
01:25:38	ということかと思ってます。はい。
01:25:41	佐治です。
01:25:43	頭の整理なんですけど、今とりあえずグローブボックス等はグローブボックスでオープンポート含むとかのところで今回、
01:25:49	一定で、グループ1っていう意味でいうと、
01:25:54	換気とか機械装置とか、あとラックとかですかね、特に136の換気塔機械装置って意味でいうと同じようなまとめりですよっていう形で
01:26:05	パワーポッチゅうか介護医療とか福祉についてとかも示してると思うんですけど。
01:26:09	あいつらが今後追加された場合っていうのは、この264からの表っていうのは、
01:26:16	量、量が増えるのかそれとも別表がさらに増える中でいうどっちの意味でしたっけ。
01:26:23	はい。乳井西様でございます。そこがまさしく先ほどの古作さんとのやりとりで整理をしますといったことだと思っておりますあくまでこれ
01:26:32	設計当初の整理をするなら、設計説明分類ごとに整理をしていくということかと思ってもいますので、それとあとは、
01:26:44	1たん6かな、他の設計説明分類も加わったときに、資料全体としてどういうに見せていくかということの整理をさせていただければと思います。

01:26:55	あくまで資料3のパッケージがどんなものがついてきますかっていうのを示したということであれば、各設計説明分類ごとにこの表がついて、うちの展開されるということもありかなとも思っていました。はい。
01:27:11	大谷です。
01:27:13	単位とした設計説明分類がいてっていうところから始まってると思っていて、その中で、個別の条文ごとのレベルになってしまう気がするんですけどまとめて説明できるようなものとか似たような説明になるものがあったら、
01:27:29	ので、
01:27:30	今おっしゃられたように何か下手にこれにレストかふやさないと。
01:27:35	なので、ここで何示そうとしてるのかある種、さっきの話と資料2と下の方でむしろはっきりするということだと思う。
01:27:42	板井に関しては、あくまでこの説明
01:27:49	だけで、
01:27:57	で、ちょっと続けさせていただいて、
01:28:01	269 ページから、久慈部隊の話に入らせていただいていたんですけど、
01:28:08	閉じ込めの話が書かれているところでちょっと後ろの図と合わせながら確認をしていければと思うんですけど。
01:28:16	今回閉じ込めっていう意味でいうと、グローボックスというか立入なので対象がグローボックス池野君制をやりつつではあるんですけど結局不安とか引きながらという形になってるので、
01:28:28	具体的設計動向っていうのはほとんどが多分パッキンとかバスケットどこに設置しますよっていうので示そうとしてるのかなとまず思ってるんですけど。
01:28:36	後圧っていうのは、そこんところだからあんま具体的に細かく書いてないとまず思いすかね。
01:28:48	はい。弓削西田でございます。はい。まずグローボックスの閉じ込め構造でいくとおっしゃっていただいている通り、いろんな接続部にパッキンを入れてあとは負圧 D 排風機いっぱいながら維持すると。
01:29:02	ということなので今おっしゃってる、この、これ以上細かいところというのが、実際はそのガスケットやパッキン及び場所を拡大したりして、図面をつけたりということの工夫は、

01:29:18	させていただきますがこのぐらいかなとは思いますが、
01:29:22	規制庁谷です。なんで閉じ込めを説明
01:29:25	っていう意味で言うと、
01:29:26	接続、
01:29:28	ので、そういったフィードが
01:29:35	口径の話とかをして光景を統一しますよとかっていう話んところうとかも抱えたりするんですけど、
01:29:42	そういったところで公開の数値とかまでは今回書いてないと思うんですけど
01:29:47	何か仕様が書かれてるやつを考えてないものの差がちょっとはっきりしないってのがまずあるんですけど。
01:29:52	ポートの後継処理しますよとかっていうのはあくまで一緒にすることが重要であって口径の高さの関係ないから書いてないところなんですかね。
01:30:00	別のところに書いてある。
01:30:02	はい、乳井西浦でございますまず
01:30:07	合計を合わせるということが大事と言いながらもそれぞれどういう寸法になってるから一緒でしょっていう、説明をしないと一緒であることの立証ができないと思いますので、
01:30:19	そういった先方が、これ審査会合でもすぐしようとか何とかが、まだ明確じゃないよねっていうご指摘があった部分だと思いますけども、そういったところも、記載を支援して、
01:30:31	実際設計が達成できてるかということの説明をさせていただこうと思いますはいありがとうございます。はい。院長谷井です今は多分 280 ページとかのところで真ん中ぐらいのところで 10 条 4 の①ってとこでこうで行動しますよと書いてあって貢献、
01:30:47	逆に 181 ページとかんとこ行って搬出こういうところに行くと、
01:30:52	多分元にした図面に書いてあった場合だと思うんですけど、OK が書かれたりするって形になってるので、結局、何を説明するかってところだと思っていてさっき言ったそのパッキンとかの説明するところだと細かくいるかっていうと、
01:31:06	寸法に関係なくてあくまでパッキングが説明したいところなんですっていうのは別にそういったところの力入れないと思うので、

01:31:12	うまいところでせっかくせえ等、
01:31:15	設計方針書いた上でそれを説明する図ですよっていう形になって、つなげるところなので、そういった情報が盛り込まれるようにだけしていただければと思います。
01:31:26	はい。乳井列車でございます。はい。承知いたしました。
01:31:30	規制庁田井です。ちょっと戻らせていただいて 169 ページなんですけど、
01:31:35	ある程度仕方ないと思う
01:31:39	ので、
01:31:40	結局これ、
01:31:42	入組確保しますよという形で、グローブボックスとかとしては、
01:31:46	結局隙間ある程度埋めますよっていう形でいっぱい書かれているんですけど、
01:31:51	この構造設計のところは、
01:31:54	何か
01:31:55	止めて帰ってるっていう趣旨なんですかね。それとパーツごとに結局書かなきゃいけないからそれぞれの、
01:32:04	はい。日本原燃石原でございますはい。一つはグループ MACCS を大枠のパーツとして考えたときに、
01:32:14	そこに対して何ていうんでしょう隙間が発生する可能性がある部分を、
01:32:22	網羅的に挙げて粗度に対してどういう設計上の考慮しているのかというのを変えていくというのが、今まとめている趣旨でございます。
01:32:30	はい。とはいえ、いろんなものがごっちゃになってるかもあるので、この記載をどうしていくか、もう少し整理が必要かとも思ってますはい。
01:32:40	規制庁の谷です。
01:32:43	いや何か、統一的な設計方針と書かれた上で、バラバラと書くんだったらまだわかるんですけど極端な事故で書いてあるのって風呂場でしっかり止めますよ隙間を埋めますよぐらいの花 C しかほとんど書かれてない。
01:32:55	と思って今のビニールバックとかの話は書いてある
01:32:58	ぐらいの話かなと思うので構造設計部分が、
01:33:02	できれば統一た考え方で書かれていると、後の図面とかで何か確認するのも統一できるかなと思ってこれ、

01:33:10	主語は違うけどやってることはほとんど変わらないと思うんですけど。
01:33:17	はい、二本木西原でございませぬ考え方はおっしゃっていただいている通りすみません共通的な考え方でほとんど展開をしています。具体個別ってのはあまりないと思ってます。その上で、
01:33:32	書き方工夫をさせていただきます。今はこのマルで書いてある項目にそもそも、閉じ込めとして考えなきゃいけないパーツってのが、
01:33:43	もれなく登場すると、それをさせるということに着眼して、この館野丸尾ですね、ちゃんと上げるんだという意味で細分化して設計を説明させていただこうと思って書いてます。
01:33:57	そちらに目を置いているので、細かい別紙で分かれていながらも、やってることは、同じことを、それぞれ場所を変えてやっているということになっているということでございます。はい。
01:34:12	杉沢小谷です。
01:34:14	谷。
01:34:15	詳細設計の基本設計方針の裏返しだけ書いてこれでいいでしょって言ってこなかった部分があるかなと思ってるところなんで、
01:34:24	それを買ってください。
01:34:35	ちなみにすいませんこの授業の参加にこだわってるわけではないですけど最初にかかる
01:34:42	基本設計方針とか言ってるのは、空気流入風速を確保します。
01:34:48	特に今構造設計として書かれてるのは、
01:34:50	グローボックスとかオープンポートボックスとか今回の対象設備だから、こちらが書かれてるってのは理解しつつなんですけど、この空気流入風速の設計方針説明しようとする、
01:35:01	ここの設備だけでは説明はし切れないと思っていて、要は換気とかの話と合わせての話になると思うんですけど、
01:35:07	そういった
01:35:08	揺らぎと、
01:35:09	書かれてるものは、
01:35:12	いうのがあって、他のパーツと繋ぎ合わせてこの業績方針に対する設計というのは、

01:35:17	一つのパッケージになるっていうのは、また、さっきの関谷の資料2でしたっけ何か、丸町小丸秋谷、星取表みたいなやつんどこでわかるってこと
01:35:31	はい、宮城西原でございます現状の整理としてはそういうことになりませう資料2で同じように基本設計をしながらで10-3のところ、例えば構造設計としてグローボックスが行って、
01:35:43	システム設計として換気みたいのがいてそれをセットでこの基本設計を1000を達成しますよということであれば、それを合わせて最終的な結論になるということかと思えますはい。
01:35:55	清町の谷です。なので今91ページのところで、設計説明文にひもづけ整理結果のところ書かれていてさっきあった十条の4、10番11の3のところなんですけど、
01:36:05	グローボックスとしては構造設計のところに丸がついていて同等のやつも同じような形で書いてあって換気設備とこにシステム設計が0って感じにも書かれてるような形になってるので、
01:36:16	こういったところで要は1ヶ所だけ2、20万なんかを貸し出して説明するっていう印がつくんじゃなくて、
01:36:23	構造設計としてはこの部分で代表して説明して、かつ、システム全体の設計としてるところは結局関係の方で説明しますよとかっていうのが、今後この表でわかるようになっていく。
01:36:36	はい。弓削西浦でございます。はい。どうお示すかも含めて考えたいと思いますそれがですね正しく説明グループをどう考えるかっていうところの、
01:36:48	整理の網を食って考え方ともうマッチするとかその考え方にもなっていると思ってまして、グローボックス単品で全体の系統としての成立性も含めて業績を指名れないので、
01:37:03	先ほどあった136っていう3番の換気設備をセットで説明をしたいというのは、こういったところを埋めていく必要があるんでセットものにしたということですよ資料2でも、
01:37:15	見せませう資料3でもそういうのがわかるようにした方がいいですかね。ちょっとそこは示し方がいます。はい。市長当日どこでわかるようにしますよっていう宣言してもらって、僕らのその資料の方で書いてもらえればわかるかと思っていて、今

01:37:31	どこでそれがわかるのかっていうのがわからん状態でいろんな資料見に行って結局どこだったんだろってなりそうな気がしていたので、はっきりさせたいっていうだけなんで、何回も同じような記載を求めて言ってるわけでもないです。
01:37:44	はい、宮城西でございます。はい、承知いたしました。
01:37:49	はい、規制庁たりですね、
01:37:54	いただいて、
01:37:55	ちょっと社内雑談投葉一定だけ確認してみたいんですけど、さっき少し話し出したビニールバッグの話があるんですけど、
01:38:02	こいつって、
01:38:04	設備になってだけ、グローボックスの一部の整理でした。
01:38:09	芦田。
01:38:14	はい、二本木西田でございますこれは設備等持ってなくて毎回物を取り出す時につけるもので、資機材リストを持ってあります。ただこういうものをつけて、中から物を取り出したりするという。
01:38:28	ことを考えてグローボックスは設計をしないといけないという認識で今、紐づけをして整理を書かさせていただきました。はい。
01:38:37	ちょっとです。何か越川にできるような設計になってますように近いような位置付けで、保守管理というのは持ち出しに近い話だから一応閉じ込めトブン関連付けて変えるけどっていうことですね。だからパーツとしては資機材だけど、
01:38:49	設計としてはそういうのがつくれて、ちゃんと取り出しとかができるような設計になってるっていうのは、グローボックスで打たなきゃいけないから今回説明して、
01:38:58	はい、そうです。はい。瀬戸立野や頭の整理した方だけだったんで実は見るわけです。
01:39:04	ちょっと次の場合の話を少し行かせていただいて、
01:39:08	衛藤。
01:39:10	284 ページとか、ところでなんですけどこの設計ところで、
01:39:16	ちょっと図面のところで、これは、
01:39:18	事例にはなって、
01:39:19	るんですけど、上のところ
01:39:23	は機構を設ける構造とするっていう形で今書かれてるんですけど。

01:39:27	他に関しては、
01:39:30	他へ状況という形で書いてあるので、どこと合わせて説明するかというところで、
01:39:37	はい。
01:39:39	言わないと、最後その冷却の意味は崩壊熱除去の観点と繋がらない気もするんですけど。
01:39:45	グローブボックスの説明だからまだ書いてない
01:39:56	はい、乳井西原でございますまず一つ一つ設計としてどういうところまでどういう組み立てで説明しなきゃいけないかを我々としても整理をさせていただく必要があると思っております。はい。
01:40:08	崩壊熱除去するためにグローブボックス上部に排気孔をた単純に付けられればいいという設計なのか、そんな設計はあんまりないと思うんですけど、ある程度回帰する、何て言うんすかね、こうこうこう、
01:40:23	効率なり効果を考えて、どういう寸法の廃棄高がないといけないという設計なのか、設計としての担保がどこまでなのかっていうのを明確にした上で、それに必要な設計情報を図面も含めて、示させていただきたいと思います。以上です。
01:40:38	はい。規制庁谷井です。何か、その際の崩壊熱塾でそんなしっかりしたことがっていう気もしてはいるんですけど。
01:40:45	今言われたように位置が重要なのか、かさが重要なのかは何が重要なのかってというのが少しはっきりしない。
01:40:54	ちょっと今後 17 条の説明の方とも関連してってということなのかもしれないんですけど設計として示さなきゃいけない所。
01:41:02	いただければ、
01:41:03	お願いいたします
01:41:05	補足です。はい。
01:41:07	ごめんなさい古作ですけど、その点だとですねこの②の方じゃなくて①の段階、或いは資料 2 の段階から分解がひどいんだと思います。
01:41:22	先ほど館が言ったように崩壊熱状況というのは、基本設計方針の方で書いてあるんですよ。
01:41:28	なんですけど、構造設計っていうところの中で、無理くりこれの言葉に限定しちゃっていて、他はっていうのがうまく書けてるのかどうかっていう話があってですね。

01:41:40	驚見は形をちゃんとできるならするってことですけど、先ほど、
01:41:48	石原さんが言った通り、
01:41:50	そんな綺麗に住み分けなんかできるわけがなくて、関係だけで担保しま すってということではなく、
01:41:56	口の大きさがそのあとの配管なりの大きさにも影響し、空気、
01:42:05	抵抗値になって、節設備のシステム設計の
01:42:11	インプットになって、
01:42:13	かかってきちゃうってことなので、そういうのも踏まえて、設計し ましてその設計については最終的には、圧損計算なり何なりというところ で2-2、展開していきますと、
01:42:25	ということになるはずですよ。
01:42:32	はい、宮城西原でございますはい設計としてはそういう形に組み立てを しないといけないと思います一方あれですね、前にもあった崩壊熱除去 を行ったパーツがあって、
01:42:46	かなりの余裕を持って、風量を設定をしてそれによってその問題にもう 全部込み込みで、設計として達成したいみたいなことがあると、または そうすると今度は、
01:42:59	排気をまわしたときにそもそも誤開率が適切除去できますかっていうシ ステムとする設計をどう考えてますかってところから、多分この廃棄工 の設計に落ちていくって話もありますし全体どう考えるかでの整理 が必要かと思います。はい。
01:43:14	規制庁古作です。層厚のせっかく話が上がったので、どうすみ分けをし ているのかを資料2で説明してもらえますか。
01:43:39	日本西原でございますすみ分けができてない結果が255ページの姿なん だろうなと思いつつも、はい。
01:43:47	今255の中で、なぜこんな夏期設備がいっぱいいるんだと言えんという ことでこれ結合しますけど、
01:43:58	グローボックスオープンポートボックス棒
01:44:02	が出てきて今度ラックピットが出てきてこれが崩壊熱を発生する大元だ と。
01:44:09	これで、いきなり設計分類例構造設計した上で崩壊熱除去する構造であ ることを合同設計に説明する。
01:44:19	もうそんなことは多分なくてですね。

01:44:23	崩壊熱の 8000 円としてあるものが、この後の換気設備の設計とのコラボで崩壊熱が適切に除去できる。
01:44:33	システムになっていることを、説明をするということだと思いますそれに加えてシステム設計全体を見た時の行動設計として何を語らなきゃいけないのかっていうのがある程度 255 の段階で出ていると。
01:44:47	書かれているということが、多分この資料 3 へのつなぎも含めて必要なことかなと今認識をしました。はい。
01:44:55	はい。補足です。そうですね。余りにここが乱暴だからできなくて、今言われたようにシステム設計がまず、廃棄関係と設置システム設計が、
01:45:07	大上段にあり、それとの関係全体コーディネートされるということだと思いますので、うまく引き継ぎの部分を整理をしてそれが読み解けるように、
01:45:19	この考え方をまとめていただくということだと思います。
01:45:23	で、
01:45:27	それで言うと、
01:45:34	等、
01:45:35	換気設備のところは、大分先ほどの話もありましたけど、設計の関係と評価の関係等というのが並んでいて、
01:45:49	これ評価が二つ並んでるのはどういうことですか。
01:45:54	はい、与儀伊勢でございますこれもうちょっと整理必要ですね。建屋排風機とグローブボックス排風機が複数関係するんで、分けただけに、はい、換気設備としては一緒なので、
01:46:06	書き方工夫しますはい。
01:46:09	規制庁かさブレスわかりましたわけ。
01:46:14	そうするとシステムとしてどういうふう量やるべきかということ、
01:46:20	説明しますっていうことの中には二つ多分あって、
01:46:27	と、
01:46:28	崩壊熱っていうのがどういう状態になっているのかそれによって必要な排风量って幾つなんですかと。
01:46:35	いうこと等、その配布量をしっかりと達成できるシステムになってますかという、
01:46:41	2 種類あると思うんですけど。
01:46:44	これはそういうことになってるんでしょうか。

01:46:50	川井。日本原燃石原でございます。はい。それをですねおそらく現状今書ききれてないところの255で換気設備の構造設計っていうのが木造ってよりもほとんどこれ、
01:47:05	排風機の能力改善じゃない。
01:47:07	だよ。構造設計が多分排風機の能力の話の本来的な話をしていて、その前に、この換気設備の下のシステム設計がいて、全体としてはシステム設計こう考えますと。
01:47:20	ということでそのシステム設計通りの機能を達成するために、グローブボックスはどういう設計にしますか、ラックピット棚をどういう設計にしますか。
01:47:31	大本の換気設備排風機はどういう設計にしますかっていうのが並んで、全体トータルで見たときに、確かに必要な風量が達成できますというのを、最後の評価で見ていくという流れかと思えますはい。
01:47:47	古作です。やらなきゃいけないことはイメージはついてんですけどそれが書いてあるようには全く思えなくて、整理をしていただきたいと思うんですけど今言われたように、
01:47:59	換気設備だけではクローズしないで、グローブボックスの中でどういう循環の仕方をさせるのかによったり、
01:48:09	する部分もあり、
01:48:11	逆にその他、今ここ北海に貯蔵の関係からの崩壊熱って話ですけど、閉じ込め関係から、
01:48:21	循環のさせ方した入口上出口だったのか、どうだったか覚えてないんですけど、幾つか整理があったんじゃないかなと思いますけどそのあたりは、
01:48:33	ここは別に閉じ込めで整理されてるんですかね。
01:48:44	はい。日本原燃石田でございますはい。グローブボックスの閉じ込めの負圧。
01:48:50	ただあれだなどで決まってるから。はい。ライフフローも含めて出入口出口の関係は設計で決めていますのでそれをどこで展開できてるかってところは今一度確認をして抜けがないようにしておきます
01:49:08	おっしゃっていただいたようにこれ、非常に、

01:49:11	錯綜するのでジャンパ説明する側が頭の定義ができてないといけないと思ってるので、グローブボックスの設計でやんなきゃいけないことを、何とかコラボするのか。
01:49:22	どれがどの条文の要求でどういうふうな説明をするのか、それを全部並べたときにこれで全部ですよねみたいなことが、ちゃんと構成として整理できてないと、抜けてるじゃんという話になりますし、説明できてないっていう話になるかなと思いますので、
01:49:38	そこも含めて、全体俯瞰して整理をさせていただきますはい。はい、古作ですよろしくお願ひします。今、ダウンフローって言っていただきましたけど、
01:49:48	あえて今説明のあった時に背弧が上にあったので、した上で行ったんですけど、そういう点だと説明にそごがあるかのようにも見えるので、こういう観点からこうなっていてこういう感じの時はこうでどういうふうに住み分けしてるのかと。
01:50:03	いうこともう見えるようにしておいていいか、いただかないといけないのかなと思ってます。そうすると、
01:50:11	この作業としては、基本設計方針細分化しさらに細分化して、具体的の方針を書くということですけど、多情た条文だったり、他の方針との関係性っていうのはやはり、
01:50:24	非常に大事になってくるので、最終的にはその説明資料3の方にはなるんですけど、
01:50:33	資料3D うまくかけ合わせるように
01:50:38	資料2の方でも、そのエッセンスは入れておくと。
01:50:41	ということで作業をしていただきたいと思ひますし、このページだとさかのぼっていった結果、こんな単純に除去する構造であることとかでは駄目だよねと。
01:50:52	いうことに
01:50:54	資料作成段階から気づいて対応いただきたいということだと思ひます。
01:50:59	今の流れだけで言ひましたけど、
01:51:04	そう。
01:51:05	グローブボックスの中の話としては、流れだけでいいのかどうか。
01:51:10	ていう、

01:51:11	ことも含めてちょっと整理をしていただきたくてそれが結局は風量の設定ってのはどうすんのっていうことに繋がってくると思いますので、その点整理をお願いします。また
01:51:23	その上で、システム設計に即した構造であることという関係から口径なり位置なりというのが出てきてと。
01:51:32	ということだと思いますので整理をしてください。以上です。
01:51:40	はい、弓削西様でございますはい。承知いたしました。前、
01:51:46	整理をさせていただきます。はい。
01:51:53	規制庁藤ですよろしくお願いいたします。
01:51:55	古作です。ごめんなさい。それで言うと、元に戻った 284 ページ見るとですね、排気孔だけじゃなくて給気口も書いてあるわけですよ。
01:52:06	図の左側の方では、
01:52:08	窒素ガスの入口もありますし、
01:52:11	こちら辺って、
01:52:13	崩壊熱状況では関係ないんですか。
01:52:21	はい、宮城西浦でございます。
01:52:25	ちょっと確認をした上で鑑定がないというよりも、
01:52:32	何て小
01:52:33	評価に対して言おうが、
01:52:36	碓井が行くやつはあまり考えないで、引っ張る側だけで評価しましょうかみたいなことも多分あると思うので、設計としてどこを説明すべきかってのをちゃんと整理して
01:52:48	回答できるようにしたいと思ってますはい。
01:52:51	ごめんなさい。方針で見ると循環と言われて、
01:52:56	冷却できることを言っておきながら引っ張ることだけで、
01:53:00	説明ができるっていうのは甚だ疑問で、じゃあ、入口がふんづまって引っ張るだけだった場合に、冷却できるのか。
01:53:19	はい、宮城西尾でございますはい。おっしゃっていただいていることも含めて、元としての設計の要求をちゃんと整理をしてそれを具体的な構造として何が説明すべきかというところを整理させていただきます。はい。
01:53:35	そうですねその下にグローブボックスは給気口と排気交換台として設ける設計とすると書いてありますんで。はい。すいません。はい。

01:53:43	はい。補足です。あの子、そちらの方は十条ってことになってて、先ほどのダウンフローだ云々だっということの関係から書かれてつつ、説明が足りてないなっていう感じ。
01:53:54	なんで、先ほど言ったように拡充はしていただきつつ、それがどっちの意味合いでどうなのか、っていうことも読み解けるようにしていただく必要があるかなと。
01:54:05	思います。具体については、ここで補足くうをくっつけて、ダウンフローってどういう意味ですかだったり、どれぐらいのダウンフローであるべきなのかみたいところは、別途説明
01:54:18	しますだったり、
01:54:22	崩壊熱除去っていうのための循環というのはどういう性能であって、こういうような扱いで整理してますっていう、補足があり、だからこそこういうぐらいの設計で済むんですっていうのがわかるようになると、
01:54:36	いうことかなと思うので、最初の時にまだ補足についてはっていうようなこともあった。
01:54:43	話あったと思うんですけど、こういったところがやっぱりポイントかなという。
01:54:52	はい、日本2社でございます。はい。個別補足も含めて、全体必要なものを整理させていただきます。
01:55:02	はい。規制庁の丹治ですよろしくお願いたします。
01:55:06	ちょっと続けて行かせていただいて、次に約87ページなんですけど、
01:55:12	ちょっと、
01:55:12	どっちだったか覚えてないんで確認なんすけど、防火シャッターって、閉じ込めの機能の一端を担ってるんですけど。
01:55:25	はい。乳井西原でございますちょっとここももう一度工夫しますちゃった野川だけですね。グローボックスのフレーム部分とジョイントしてる部分があると。
01:55:37	いうところでシャッターそのものの中身はあんまり、
01:55:39	閉じ込めという意味では関係ないですはい。
01:55:42	きちんととって他のところで上の方についてる条文とかそこしとかのところ、まだ多少回復の話。
01:55:53	等価シャッターに係る設計方針とか、
01:55:55	いわば閉じ込めっちゃうよりは、

01:56:02	はい、宮城江沢でございます。はい、おっしゃる通りです。これ、仕分けをして、地べた格付いただきたいと思います。ではないですのでそこは整理をさせていただきます。
01:56:17	規制庁谷です。
01:56:19	よろしくお願いします
01:56:22	287 ページのところで下に※書きで書かれていて、
01:56:26	3 時間耐火の境界ってどこにするのか考課者の構造とかを今度示しますよって形になっているんですけど。
01:56:33	これは笠井に行ったら何かもっと細かな図を何かつけようとしてんですけど、たっけな、どんなものを追加するイメージでしたっけ。
01:56:43	はい。峰者でございます。はい。
01:56:47	もともとですねこれは特に試験結果等も含めて、
01:56:54	管理課隊が達成できてますとかいう説明をしたのが火災のところの説明だったと思うのでその試験体との関係だったりっていう所に説明するのかなと思ってました。
01:57:04	はい。
01:57:07	・・・
01:57:08	違う。
01:57:11	材料、
01:57:16	はい、宮城西浦でございますが、こんなイメージでございましたのは、規制機関はあるかと思えますけど、そんなイメージです。はい。
01:57:24	そうです
01:57:26	情報、
01:57:31	どこまでが、今回、説明として必要なものかなっていうの。
01:57:35	確認したかったというところ。
01:57:37	下で、
01:57:38	ちょっとそれ、
01:57:39	せていただいていたん。
01:57:40	どう。
01:57:42	衛藤。
01:57:43	ちょっとさっき話に出たやつにちょっと関係してくるんですけど、293 ページのところ、

01:57:49	こっちフードとかの話なんですけど、具体的な開口部については補足説明資料ポッポボックスのっていうふうに書いてあんですけど、
01:57:58	具体的な開口部についてはっていうのは、何を飛ばしてるんですけど、ここでは、何までを担保しようとしていますか。
01:58:15	規制庁谷です。簡単に開口の方とかっていう概念は、ここでしねえ。はい。
01:58:22	きてます。ガイコウフ高さ 300mm って書いてるので、ここで高さとしての制限は示しているつもりでございます。実際その開口
01:58:33	このときの多分、
01:58:36	面積の話だろ。個別補足で、
01:58:39	多分この開口の大きさで、実際、トップバー風量というか、が担保できるというのが絶対値、面積との関係もあるんで、そこの区別不足で説明しようというのが、
01:58:51	293 に書いてあるところでございます。
01:58:54	実際その前の 292 ページのオープンポートボックス側はこれ書いてある通り、通常運転時における、
01:59:02	冒頭、何か開けるかという話ですので、実際どういう対応があって、どういうポートの数が空くもの前提なのかという整理をしたのが、個別補足で、
01:59:12	つけられるということで今考えてます。
01:59:15	はい。
01:59:18	293
01:59:19	でいうと、外国高沢が書かれていて、横野中さん。
01:59:24	李先生はその
01:59:27	あとでどういうふうな開口の、
01:59:29	ところで計算するかところで紐づきながら確認できるようになっていくんですよねきっと。
01:59:36	はい、宮城西田でございます。おっしゃっていただいてる通りでございます。これも今、斉木の話と一緒にすね換気設備とのコラボの話もあるので、これだけで何かいえるかという全体通してどういう設計なのか。

01:59:49	ていうのを紐付けだから説明が必要だと、ということだと思います。そこも含めて、先ほど資料2からの展開含め、何と何がリンクするかを見せるようにしたいと思います。はい。
02:00:02	辻本です整理がされるということではあるんですけど今構造として示さなければいけない寸法とかの情報ってというのが盛り込まれていてそういうところはどのように使われるかっていうところとかが、あとで出てくる補足とかでも多少カーナビは、
02:00:14	実際評価の高度化、客側に紐づくのかな、いきなりちょっと補足に飛びますっていう形で書いてあるんですけど、あそこを書いてある内容が多分添付と同じような内容書いてあったり、
02:00:29	ちょっと今回ロードボックスで、あくまでこのポートボックスとかのところまでしか指名さない形になってるので、さっきまでの話も、換気設備とか要は第一グループに示し、
02:00:40	奴らから、
02:00:41	授業の説明をするために必要ですよって言ってるやつが横にいと、もうちょっとわかりよかったような気はするので、今回はあくまで代表提示としてどのように示すかっていうところを示されているという形だと思うので、
02:00:51	次回以降は、その下、グループ1系列は出てくるんですね。
02:00:58	はい。弓削西原でございます。はい。そうですね。私の話をこれ以上このグローブボックスでやってもあんまり意味がない気がするので、説明グループキーをまとめてセットにした形で、
02:01:10	次回、今回の宿題も含めて、クリアにしていければと思いますはい。はい、渡です。岡山さん、ちょっと、特に国交の手前までは途中
02:01:23	系の、
02:01:29	消されて示そうとし、
02:01:31	変わりました。
02:01:33	で、ちょっとグラフボックスとして確認しておきたいのはちょっとこいつの城戸は
02:01:37	できちゃうので、そのタイミングでということだとそう言っていただければいいんですけど、18ページから18ページ、ごめんなさい、294ページですね、294ページのところから
02:01:48	中身の影響の話が出てくるんですけど、

02:01:51	前にもお聞きしたんですけどこんやく 94 ページに書かれている文章とかの話は、手前ところで表で、設計方針示してそこと図面お金付けますよって言うやつとの関係でいうと、
02:02:03	ここに書かれてるような内容は、基本的には前の設計欲しいところから書き下した構造設計のところで大体読めるっていうし、
02:02:14	はい、弓削西平でございますはい。そういう整理でございます若干これ徳田してしまってるのでそのコラボをもうちょっと整理をして、
02:02:24	いきたいと思います。搬送設備の設計に預けというところもあるのでそこも整理をしてお互いのリンクが、資料 3 とかの中でも見えるようにして、
02:02:37	前段階の表の中でちゃんと整理ができるやり方が必要なと思ってますので、引き続き整理を進めたいと思います。
02:02:45	支店長の丹治です。ちなみにこいつって、269 ページ以降の表だとどこと紐づいてるっていう整理になるってこいつ、どっかの設計方針なんかちょっとどっか 27 行ったような気がするんですよ。
02:02:58	やっぱり紐づいてないんですけど、今。
02:03:05	あそこ頭かあとごめんなさい 269 ページのところ、
02:03:09	14 で 4-17 って 10 (17) です。
02:03:14	ていうのは今は毎にはなくてここだけに、よろしいでしょうか。はい。
02:03:20	はい。日本技師長でございますが、ちょっとこの、私もすいませんいろいろコメントしながら記者でございますが、ちょっとこのまま後すいません横道滞留等を通じて、今現状ですね 18 番以降時計が番号で紐づいてます 17 番 (17) がですね、
02:03:36	1 より打てるんですそれもせっかく行動設定のところ、こうやって整理をしているところもあるので、それとうまくリンクがとれるようにしたいなと思ってたところでした。はい。
02:03:48	ちょっと大事です。要は前の情報で事足りるっていうんだったら無理にここでつけなきゃいけないのかっていうのは、ここで見つける意図っていうのははっきりしてもらえればいい気はするんですけどだとすると何かこの図を示しますよっていう流れの中でいきなり文章に変わって書いてるのが、
02:04:03	どういう位置付けパッケージの場合づらいので、

02:04:06	こいつは別の積み飛んでるわけでもないんですよ。書いてないですよ ね。
02:04:11	で位置付けた廃棄していただければ。はい。
02:04:15	はい、承知しました。はい。今は 10 (17) 294 ページの考え方をベース に、
02:04:23	295 ページ以降の (18) 番以降が繋がっていく形を変えていこう、繋が っていく。だから言っているつもりではあるんですけどいまいち前リン クも、
02:04:36	綺麗にできてないのでそこは引き続き、整理を進めますはい。
02:04:41	すいません古作です。
02:04:44	前との繋がりができてないっていう古藤なんだと思うんですけど。
02:04:50	小松。
02:04:51	今日最初の方に言ったように、
02:04:53	後段で説明してます。しますと言ってるのを、そうは言ってもねと言っ て入れているということであれば、そういうことがわかるように書いて いただかなきゃいけないし、ということ等、
02:05:06	私、逆に、後でと言ってるのになんで入れてんですかっていうことのよ うな気がしますし、
02:05:13	さっき葛西方でも少し話ありましたけど、
02:05:17	これ、
02:05:18	プラスちょっと先出してますだけだったらあと、それを具体は後でやり ましょうねっていうこと。
02:05:24	なんですけど、その意味だと 294 ページ、五名 123C とあって、南條何 とかで説明ってなってますけど、これは、
02:05:37	どうなってるかっつうと機械搬送って言っているんで、
02:05:42	グループ 1 の中のステップ 2 っていう意味ですか。
02:05:47	ステップ 1 個で 1 ですか。
02:05:51	ステップ 1 からステップ 2 でグループ 1、
02:05:56	はい。与儀りしちゃうございます。はい。物流、説明グループ 1 の中で 米が全部クリアになりますので、
02:06:07	そこも含めて全体構成、物流かは整理をしないといけないと思ってます これは例えば、機械搬送設備何条のところで構造設計で説明しますって のは、

02:06:19	説明グループ1の単位であれば当然そのシートが出てくるのでそこで説明して、グローボックスのところとのリンクを取ってお互いの関係がわかる設計の位置関係を示して、説明をしていくと。
02:06:33	ということはないと思ってますので、このシート自体が、ないらなくなるとおかしいかなと思います。はい。はい、古作ですまさにそうで、
02:06:43	上流ないのにいきなり出てくるとこれ、上流に入れなくていいのかよってという話になると、ということなので
02:06:50	それがステップ2で聞いていい。
02:06:52	9、消えていけるようにステップ2の中で資料2から含め、精査がされるということで理解をしました。
02:07:08	はい、規制庁単位です。
02:07:10	ちょっと自分の販売だと幾つかなんですので確認させていただければと思うんですけど。
02:07:14	297ページからのところで、さっきのところでもとめて文書で書いてあったやつをそれぞれ拡大しながらところで297に行って、
02:07:24	ここで文章のところ、可動範囲を制限とか、距離を確保してという考え方を書かれているところなんですけど。
02:07:32	これっていうのは、この資料で確認できるっていうふうな説明なのかそれとも何か別の設備
02:07:41	と設備なのかグループなのかわかんないけど、
02:07:44	ここで説明し切る。
02:07:47	この資料で説明し切っている。
02:08:04	ファイリング2社でございますがこれが多分ですね、さっきの294ページが、整理がうまくできてない結果だと思ってます。
02:08:15	議会村長搬送設備側でそういう制限をするという設計があって、それを前提に、ここでは、落下はい。であったり、
02:08:27	弁当のモードであったりというのを整理をしてますので、どちらかというところらで何か設計を説明してるっていうことにはなっていないと思ってます。
02:08:37	そこをちゃんと仕分けをしてどこの誰が何を説明するのかってことかなと思いますはい。
02:08:44	はい、規制庁たです今おっしゃっていただいた通りで何まで説明しようとしてるのかっていうので、この説明だけで足りるって説明された足り

	ないですよって言わなきゃいけないんですけど、別のところで説明してるんだったらそっちを見に行っって今後そのんだなっていう形で済むかなという。
02:08:58	ねえ。
02:09:00	ま、ちょっと、ページがまだ示してないタイミングなんで出た仕方ないかなというふうに思う。
02:09:05	けど、それだけでも意識して示していただければと思います。
02:09:12	あと、規制庁絶えずちょっと自分から、
02:09:15	多分1回ここで区切るの298ページなんですけど、
02:09:19	書き方だけだと思うんですけど積算方式の設計方針ってのが書かれていて、
02:09:27	粉末容器が転倒してやっぱし内容内装機器があった場合、グローブボックスパネルグローブボックス本体を干渉して取るようにはしがたい構造とするっていうので、ここでパネルとかの話も出してるんですけど、
02:09:39	要は阿部の緩衝材として見れるのは要は
02:09:43	勢いよく落下してぶつかったようなときだったら衝撃に対して耐える体の話にならなきゃいけないけど、
02:09:49	298で
02:09:51	細かなところまで言えないのかもしれないけど、その場でって、横に倒れる程度の衝撃なら耐えられるっていう説明ができるから、
02:09:59	ここでその干渉物としての説明にまじってくるスタイルが書かれて、
02:10:07	はい、弓削西原でございますはい。そういうことでございます。そういうことも書かないといけないと思いますけど
02:10:13	その場で傾いたぐらいであったろうが、そんなものはパネルを壊そうの衝撃にならんだらうということで考えてますこれもどこまで検討濃度を考えるかっていうところなんですけどそれもかなり合意に
02:10:29	無理やり検討され、させてみてっていうところまでやっているの、それが設計上の考慮事項の案伊藤どういう関係なのかっていうところも整理が必要かと思っておりますはい。
02:10:39	はい、杉町土肥です。なんで評価条件をまずはっきりさせていただきまして、補足とかで今言われたようにいや本来ありえないんだけどっていうところの保存

02:10:50	とか奥谷今使いたいんですけど、なんでこう倒れたよって言いたくなりそう。
02:10:55	何故か書かれたりはするので、この資料で何まで示すかというところにはなるんですけど、今の考え方みたいのがここで書かれていて、評価条件所とか細井
02:11:06	として示すこと。
02:11:09	見ていけるかなというふうに思うので、
02:11:11	これって、何か横川清宮川なんて倒れる想定するんですけど。
02:11:22	はい、日本原燃車でございます。
02:11:28	総計は、すみません何もなく、無理やり、
02:11:32	遠藤させてますんで、普通に考えれば上下にただ動くでございます。
02:11:38	それだけで横にストッパーがストッパーとかの代があって、数は見れないようになっているので、どうしますかっていうと普通に考えて検討しないんですけど、
02:11:49	パネルに当たったときどうなるかっていうの考えの2、無理くり、横に倒してみたっていうぐらいの程度になってますはい。規制庁、すみません、規制庁古作ですけど、そもそもこれ説明がおかしいなと思っ
02:12:02	てるんですけど、許可の際から落下防止で干渉してとかっていうのはありましたけど、グローボックスが影響受けませんなぜならグローボックスに当たりますからって、
02:12:14	言ってる、
02:12:16	何か入口出口おかしくなってるような説明なんですよ。
02:12:21	ていうところまで含めて全体ちょっとロジック整理していただいて、今言われたのは、実はその鉄塔しません未
02:12:31	ていような構造になってますの方が本来じゃないかなっていう気もしたりもするんですけど、もう改めて整理して説明いただければと。
02:12:43	はい。与儀西原でございますはい。はい。整理しますおっしゃっていただいてる通りだと思っていて、
02:12:51	パネルの損傷モードみたいのを考えましようと言って事故の起因とし、要因としていろいろはずいて、設計上こういうことを担保しますよっていう書きながら、
02:13:03	それが結果論の設計になったところもあってですね、実際持たせばそうならないように設計するよね。

02:13:11	だったら、転倒しない志田かもしれないんじゃないかというところなのかなと思いつつそこの入口出口の整理をしっかりとしたいと思いますはい。
02:13:21	はい。補足です。よろしくお願いしますもしこのままでいくんだとしたらグローブボックスパネルの設計として当たっても大丈夫なことっていう評価が必要になって、2-2 っていうのに、
02:13:32	展開するような記載をしてもらわなきゃいけないっていう感じにもなるんで、
02:13:37	今、全体的にニノイチだけで書きちゃってるというような気がするんですけど。
02:13:41	その点を念頭にじゃあどうするっていうのをまとめてください。
02:13:49	はい、宮城西浦でございますはい。承知いたしました。
02:13:54	規制庁鍛冶です。
02:13:57	それ以外の通りなんですけど、多分 297 とか、
02:14:00	さっき話だったか。
02:14:03	腎機能の話とか距離とかの話のところ、
02:14:07	爪式ルールところを、でも例えばその前で転んだときはとかっていうのを始めて、
02:14:14	何か条件統一してるのかどうか田子南部ちゃんついてきているような気がするんで、一方では何かすごい想定してでもこっちでは想定しないですとかってなると、何でとしないのみたいな話も
02:14:24	いなかった。
02:14:25	で、どういう位置付けなの話。
02:14:28	他にだけしていただければ
02:14:33	はい。二本木の石田でございますはい、承知しました。はい。
02:14:38	市長といいですと、構造設計部分は自分以上なので何か耐専の話とかも出てくるので他のが田崎にあればお願いし
02:14:52	ばっか P ですけど、耐震の話も結構あるんで、一旦休憩入れてもいいような気もしますけど、どうしますか。
02:15:06	じゃあ、
02:15:09	2 時間過ぎてるので休憩にしましょうか。
02:15:16	全然いいですか。

02:15:20	はい、弓削西田でございますはい。耐震がいっぱいあるって聞いてちょっと明確だとしましたけどはい休憩で、よろしくをお願いします。
02:15:29	成長山内ですとそれでは 15 時 55 分再開通して休憩を挟みたいと思いま ず録音を提出し、
00:00:00	はい、了解しましたとそれでは等、先ほど鈴木から上出さんからですか ね確認をお願いします。
00:00:13	はい。規制庁上出です。耐震の方で話をしたいんですけど、
00:00:20	まず 274 ページの表が、前、ヒアリングした時につけてくださいって いうのがついてきていて、
00:00:29	これをつけてもらったことによって、詳細説明図でどんな説明をしな きゃいけないのかということとか、
00:00:39	あとは今書いてあるその基本方針に、不足している視点はないかって いう話ができるようになったと思ってるんですけど、まず現年その辺は認 識合ってますよね。
00:00:53	はい、宮城西田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだ と思ってます。
00:00:59	はい。規制庁深見ですって。それで、もう 1 個、この目的というかそも そも何でこれ作ってるのっていう話をすると、1 ページ前の 273 ページ のところ、
00:01:12	基本方針幾つか並んで耐震形いっぱい添付の基本方針ありますよねと 言って、どれを並べたらいいんだろうということ、まずは
00:01:25	274 ページのような整理をして、共通 12 として、耐震関係で何を説明 するべきなのかという要点を使いましょうというのが発端だと思ってる んです。で、
00:01:39	今その 274 ページの表が、もう上流の設計方針とは切り離れた状態で表 がつくられちゃっている、
00:01:49	そのあたり、今後どう資料 2 からなんですけど、10 日全体のパッケージ ングをどう進めていくのかという戦略を基礎、
00:02:02	えっと思ってるんですけど。
00:02:14	はい、岩根石原でございます。はい。まず今の時点でやった形が必ずし も目的に沿ってないとまず認識している点は 274 ページがまず資料 3 の 構成物だと。

00:02:30	いうところですか。資料2の中で耐震設計として考慮すべきところというのを全体的に挙げた上で、どれを資料3-5構造設計年とかの設計に反映しなきゃいけないものを、
00:02:43	抜き出して、それを個別具体的に説明を資料3までしていくという形にしたいというのがもともと持っていたところですけど、中途半端な形今だっていると思います。
00:02:55	はい。勝山この耐震計算の規模、基本方針かなの添付も含めて全体の添付として6労災に行かなきゃいけないのかというのを設計説明分類対象物との関係で整理をしていくと。
00:03:10	ということかと思っています。
00:03:16	はい。木瀬直下ケース、一応課題は認識していただいたのかなと思っています。私もあの最初資料を見たときに、資料2にこの資料がなかったんで、
00:03:27	なかったんで270
00:03:29	のようなものがなかったんでは全然反映してないなと思って読み進めていくと資料3でいきなりこの資料が出てきた。
00:03:36	ということなんで、今日のところはまず、今この274、175のところから具体的話をしつつですね、次の段階では資料2から、どう整理していくかっていうところが、
00:03:52	手当されると思って、まずいいですか。
00:03:58	はい。人間に、石田でございませう。上出さんとの距離でいくと、いいですかと言われたかといって言ってその通りまでできてないということになりかねないですけど。はい。認識はしてますので、
00:04:11	資料2からの展開も含めて全体整理をして先ほど申し上げた通りの形に引き上げていきたいと思って最後、
00:04:22	はい。規制庁柿木です。まずはあとは、ちょっと進め方をまた最後
00:04:28	話ができればと思いますんでちょっと中身の話をしていこうと思いますけど、274ページの最初の方からです二つ2行目からですね。
00:04:39	解析モデルの設定とあって、
00:04:44	梁モデル、出展系と有限要素みたいなものがありますねという説明で、構造設計の欄にいくと、グローブボックスは
00:04:56	有限要素法でやりますって言うんですけど、ここで説明しなきゃいけないのは、どういう構造だったら、

00:05:08	有限要素法を採用したんだ、採用できるんだっていうところをちゃんと説明をしなきゃいけないっていうことを、
00:05:15	なんですけど、そのあたりは理解いただけますかね。
00:05:21	あ、すいません古作です。ちょっと私はもっと一步手前だと思ってて、有限要素法使えますは、2-2の説明であって、
00:05:31	2-1は有限要素法を使える構造であるというその構造を説明すると、いうことだと思ってます。
00:05:50	はい、弓削西原でございますはい。私の頭も整理をしないといけない2-1と2-2の関係をちゃんと整理をして、2-1としてはこの設計を、が、こういうもんだと、いうことも説明をするところだとは思ってますので、
00:06:06	そこの整理をさせていただければと思います。はい。
00:06:17	規制庁古味です。3、一番左側ですと3.1. 1のいう(2)で有限要素モデルって書いてますけど、ここで、
00:06:27	その長い道具に複数の支持点とか、クレーンのようにって言ってますけど、そもそも、
00:06:36	そういう構造じゃグローブボックスがいいですよ。何で、
00:06:41	この辺方針としてもまだ考え方にないし、要はこういう構造だからっていうのを図面で示してもらわなきゃいけないっていうことなんですけど方針、
00:06:54	の面、あとは示す内容の面両方とも不足してるなと思いますが、そのあたりは理解いただけますか。
00:07:03	はい。三宅西原でございますはい。まずそうですねまずこの274ページを273ページ前と切り離した時点で、そういう、
00:07:17	設計方針としての書き方としての不足点とか曲げ構造を考えたときに、対
00:07:24	気しないといけない網羅、
00:07:26	展開しないといけないことが抽出できない形になっているので、これ、資料2も含めた全体として、どこでどう変えていくかと、いうことを整理した上で、必要なものをちゃんと、
00:07:37	設計方針側にも展開するように、整理をさせていただきますはい。
00:07:46	はい、木曾市岡実です。それで単純な確認ですけど、グローブボックスで何で失点系じゃなくて有限要素で解いたんですか。

00:08:09	はい、宮城西原でございますととにかくうちの田井新屋に聞いても構造が複雑だからとしか言わないんで、もうちょっとかみの整理をしていきます。はい。多分答えにならない気がして、
00:08:20	はい。
00:08:22	はい。
00:08:23	別所。はい。
00:08:28	はい。規制庁神です。で、
00:08:30	実態のところと言うと
00:08:33	もう、グーとか、もうポンプとかだったら載ってますけど、計算の式が、それ以外は有限要素でとってきます。
00:08:44	だから三階なんだったらそういうのも、表れるように方針にしたらいと思うんですよ。中野。
00:08:52	変に、構造が複雑だからっていうよりは実情に合わせて、ちゃんと実態を説明してもらおうということが大事なのかなと思いますのでその辺りも少し、
00:09:03	実態をもう少し調べて、表現してもらえればと思います。
00:09:08	はい、宮城西尾でございますはい。承知いたしましたはい。実際の構造を踏まえてモデルとしてどういう形で計算していくのかというところに方針がちゃんとなるように整理をしていきたいと思います。はい。
00:09:26	古作です。
00:09:29	ヒントっぽくなっちゃうのも変なんですけど質問。
00:09:33	前。
00:09:36	剛体ではなくて、結構変形してみたいなことが話があったと思うんですよ。
00:09:42	そうすると変形がどういうふうになっていくのかっていうのを追いかけてながら、部材単位でどこに揚力が発生するかというのを見ていかなきゃいけないと。
00:09:52	いうことかなと思って失点系だと比較的、構造体としては5の中、
00:09:59	1軸で動きできるみたいなことがあってっていう古藤かなと思うんですけど、まあそんなもんじゃないよと、だからこそ、サポートもあちこちにつけなきゃいけないしと。
00:10:11	いうことなのかなとも想像してたんですけど、どういうことですかね。

00:10:21	はい、二本木西原でございます。はい。ありがとうございます私がそこでそういうこと言っちゃ駄目だ、剛体じゃないっていうのでけっこう評価としては
00:10:35	5で単純にできないってところはあると思ってますので、そういったことも含めて構造としてどうしてるんだというところとの関係でどういうモデル、計算をすればいいのかという計算、
00:10:48	だから、それが実態に即して評価ができるのかってところを整理をして、それが設計方針にちゃんと展開されるということかなと思いますので、整理させていただきますはい。
00:11:00	古作ですってそれがですね、評価側から来るのかっていうとそうでもないような気がしてて、なんでその設計にするんですかっていう、大元をちゃんととらえた方針にしてもらわないと。
00:11:12	実態をねじ曲げて、申請されちゃう形になるんでちょっと気になってます。よく考えて、整理をしてください。
00:11:25	はい。宮城根井社でございます。はい、ありがとうございます。承知しました。
00:11:33	はい。規制庁深見です。阿藤。
00:11:36	人の書き方みたいなどころでもあるんですけど、(2)の有限要素モデルの2パラ目って、はりモデルについては主に柱や梁等って言ってますけど、
00:11:49	ちょっと私はこれ、機種を逆だと思ってて、柱とか梁は梁モデルで解きます。板板として構造要素の場合はセリで解きますっていうのが書き方としてふさわしいんじゃないかと思いますけどいかがですか。
00:12:11	はい、日本原燃石原でございますはい。
00:12:16	おっしゃっていただけてる通りかと思えます頭の(2)の頭の文章は、どういう構造のものはって書いてこういうモデルにしますって書いてあるのにいきなり、
00:12:27	次に行くと梁モデルについてはっていうと書き方も考え方もあってないですよね。
00:12:33	おっしゃってる通りで柱や梁等の機器、柱上の部材についてはこういうモデルでやりますみたいな話かなと思いますので、はい。ちょっと整理をしていきたいと思えますはい。

00:12:48	はい。規制庁小峯ですって。その上で、グローブボックスどういうふう に判断、どういうふうモデル化したかっていうところなんですよて、
00:12:59	ちょっと後ろの図面を見てもう過去これっていうのはないんですけど一 応艦隊のフレームは、梁でやりつつ、
00:13:13	なんかパネルルーム乙は処理で作ってるっていうことなんですけど、どっ か
00:13:20	考え方説明できるような図面ないですかね。
00:13:39	はい、乳井西浦でございます 307308 なんか、それっぽいについてます けどこれも計算書についているやつただ持ってきただけで説明なってな いので、
00:13:50	先ほどの整理をした上でその設計としての必要 10 なものを図面として 付けさせていただければと思いますはい。
00:14:05	藤店長神です。図面として付けるっていうか、考え方を説明してもら うのがいいんじゃないかなと、要は 1 点です。
00:14:15	パネルが、多分モデル化してるんですよね。なんで、これ、こういうも のこれぐらいの強度が期待できるから、モデル化します。一方で、
00:14:26	その窓を引いた部分についてはモデル化しませんとか、あとは
00:14:33	あれですよ簡単についてもこういう形で、針として考慮しますみたい な、そういう考え方がちゃんと書かれないといけないんだと思ってるん ですけど。
00:14:44	大丈夫ですかね。
00:14:48	はい。二本木院長でございます。先ほどの作家さんとも協調条例別件と して説明するこのペーパーをピックアップしてそれを具現化するという ことだと思しますので、
00:15:03	はい。整理をさせていただければと思います。以上です。
00:15:07	規制庁小阪ですちょっと上出さんにコメントなんですけど、上出さんの コメントの言い方が全部 2-2 の関係でのコメントになってて、
00:15:15	ちょっと 2-1 として何をすべきかっていうところを誤解されそうなの でその点気をつけていただけますか。
00:15:25	はい、上出ですちょっと気をつけて話をします。
00:15:30	はい、古作ですよろしくお願ひしますで、今の関係で言うと、2-2D 表、期待する部材にしますと、

00:15:40	ということだとすると、そういう部材として設計をしますということで、構造設計の説明としてはあり得るかなと。
00:15:49	思っていて、なので、今のグローボックスパネルとかの方は期待しないからそれに応じた材料で何々でということになり、期待するものは、
00:16:02	それにする評価が2、
00:16:06	適した条件設定ができる材料にしているというようなことになるのかなと思いますけど。
00:16:12	原燃としてはそういうことで設計されてると思っていいですか。
00:16:16	はい。宮城西田でございますはい。当初からのそうですねちょっと私、我々もぶれちゃってますけど2-2で、評価でこういうことを期待するんだという部位が出た時にはその評価する、
00:16:31	期待する以上はこういう構造にしないといけない。部材の設定だったり、大きさだったり、寸法だったりということだと思いますが、そういうところとして、していくと、ということだと思ってます。
00:16:45	はい。
00:16:46	例えば耐震上期待しないところでも他の条文で期待するのであればその条文の領分での期待に対してどういう構造にするかということが説明されるということかと思ってました。はい。
00:16:59	はい、古作です。その観点で整理をよろしくお願いします上出さんどうぞ。
00:17:07	はい。規制庁神戸です。
00:17:10	なかなか耐震のバイスの2-2-1。
00:17:14	ていうと、だんだん難しくなってくるというか何だろう、閉じ込めの、例えばグローボックスなんかだと、閉じ込めの方でもうこういう、
00:17:26	ものに、
00:17:27	しますと言っているものを受けて評価をしているので若干新野に目線で、ちょっと話が伝わっちゃうかもしれないんですけど、ちょっと整理をしてきてもらえればと思いますが、
00:17:40	そうですねで、次、寸法ですね3.1. 2の数、(1)の3項のところでしょうと、
00:17:50	示して欲しいものとしてですね、今これ飛んでる先が、何ページかな。
00:17:58	先ほどあったような、
00:18:06	307ページとかに飛んでると思うんですけど、

00:18:10	外形寸法とかちゃんとやってくださいねっていう話だと思うんですが、艦隊のその断面ですねメンバーみたいなものが、
00:18:21	見えていないんですけどそのあたり、もう
00:18:26	ちゃんと示してもらわないと。
00:18:28	ということなんですけど大丈夫ですか。
00:18:41	はい。宮城西原でございます。はい。
00:18:45	2-2 での評価にっていうような構造であったりということであると思うので、はい。そういったことも、
00:18:55	これってこれ、
00:18:56	関係ないの。
00:18:57	これは支持ボルトの話だけのことです。こういうパネルが全くないなと。
00:19:03	場合で承知いたしましたはい。
00:19:06	古作です。はい。はい。今、眩かれたところがポイントだと思ってて、このモデル図だと何をモデル化に入れているのかがよくわからないんで、
00:19:16	そこら辺を先ほど阿比留も言っていましたけど、どういうものをモデルにするかということの方針があり、それが実際の構造としてどうなっているのかっていうのを説明してそれでは
00:19:28	模擬されてますっていうことに、2-2 で繋がるということだと。
00:19:36	はい。宮城西浦でございますはい。おっしゃっていただいた通りかと思えます。左側の
00:19:42	上顔見て、この四角で丸四つついて何なんだろうなと思いつつ。はい。私でも読み解けないのも駄目ですね。はい。すみませんでした。はい。
00:19:52	はい、規制庁補足ですその上でもう 2-2 に入っているじゃないかって言いましたけど、2-2 に繋がるために必要な情報として書き込んでます。
00:20:02	ということで、2-1 の説明の十分性を説明するという観点から、2-2 の入口があっても許容できるかなっていう気はするので、その点で、
00:20:14	適切な範囲というのを考えていただいたらいいかと思えます。
00:20:21	はい。宮マネージャーでございます。はい。承知いたしました。はい。
00:20:30	はい。規制どっかミス、もうちょっと具体的にサイト 301 ページなんかでも一応これ耐震として説明があって、こんなものですよって書いてあってその駄目っていう意味だと。

00:20:43	今、耐震サポートっていうと SS400 って、材料のどしどし書いてないんですけどこれ多分普通の鋼材使ってるんで、
00:20:54	幾つのアングル使ってますとか、地区を使ってますとかっていう話幾つ三分使ってなくて、あればいいと思うんですねプレスも、
00:21:03	一方でこれ艦隊は多分片方も使ってないんじゃないかと思って思うんですよ。そういう場合グローボックス特有なんですけど、
00:21:14	こういう構造になっていることに対して、
00:21:19	2-2 の側になっちゃいますけど、どういう断面でモデル化しているんだっていうところがちゃんと説明してもらわないといけないなど。
00:21:29	まずは
00:21:31	艦隊がどういう感じで、君組まれているのかというところをちゃんと説明してもらいたいなと思ってんですけど、理解いただけますか。
00:21:40	はい。宮城一緒でございます。2-2 での評価の視点が出てくるためのキックとしての、グローボックスの構造の説明。
00:21:50	いうことを、しっかりとさせていただくということで今認識をしました。はい。
00:22:00	はい。規制庁深見です。
00:22:02	あと 274 ページに戻って、
00:22:06	同じ寸法のところの、
00:22:13	へえ。
00:22:14	構造設計の欄ですね、ここで寸法、
00:22:18	うん。
00:22:20	グローボックスは云々って書いてあるんですけど、他のところに行くと、
00:22:28	一緒が支持構造物とか、あとは内装機器みたいなものもあると思うんですね。で、
00:22:38	何か
00:22:40	構造設計の欄で書いてある主語が結構遅れていて、
00:22:45	登場人物すべてをちゃんと書いてあるようにも思えないので、この辺りきちんと整理をして、アドバイスとかもありますからその辺もちょっと整理をしてもらいたいなと思いますけど大丈夫ですかね。
00:23:08	うん。

00:23:12	はい。宮城ネシアでございます。はい。内装機器、機械装置、搬送客種分類でやるところとのリンクも含めて、
00:23:23	どこで変えていくのかということの整理をさせていただければと思います。はい。
00:23:33	そして直下のみです。
00:23:35	その次、(2)番で、拘束条件ってありますけど、これもこれもさ、先ほど話をした中に、
00:23:46	生まれるんですけど35ページ辺りを見ても、特にその床面がよくわかんないんですよこれ。
00:23:59	パテ床とどう繋がってるの各県 me よくわからないんですけど、県は何か説明できます。
00:24:20	はい。確かに構造がよく見えないところがあります梅木から絶対にベースプレートを溶接してそこにボルトで締結するみたいな形にはなってますけどそれをどういう。
00:24:34	視点でどういう形で締結しているのかってところが、ちゃんと見えない図面なのでそこを整理をして、閉示せるようにしたいと思いますはい。
00:24:49	はい。規制庁上出です。一番下の支持構造物っていうのは多分、今言われたもので、それを乳量たて後は溶接をした。
00:24:59	状態 D、あとはグローブボックスはボルトで、綱つなげているんだと思いますけどそのあたりかわかるように、壁につけてる耐震サポートなんかは展開図というかこんな感じで、
00:25:14	ベースベッド等とこんな感じでちゃんと書いてあるんで、これは他の拘束条件ところにも当てはめてちゃんと説明してもらおうと。
00:25:23	いうところをお願いします。
00:25:27	はい、宮城西様でございますはい、承知いたしました。
00:25:36	規制庁管です。574ページの次、(3)番で今度ってなってますけど、
00:25:49	いえ、
00:25:51	真ん中かな、
00:25:54	左から二つ目の計算耐震計算書作成の基本方針の欄のところ、
00:26:02	っていうのは、使用今日の最高使用温度、または、環境温度と、
00:26:08	開いてあるんですけど、構造設計の欄に、頭をグローブボックスは、設計図書における最高使用温度ってなって、違ってるんですね。実際に、

00:26:19	そのプロボックス使用今日はあるんですけど、温度は書いてないんですよ。
00:26:24	なんで
00:26:26	これは方針のところ書ききれてなくて仕様表がないものはどういうところから持ってきますよっていうのをちゃんと書かなきゃいけないと思ってるんですけど、対応いただけますと、
00:26:52	はい、宮城西尾でございますはい。おっしゃっていただいている行だと思います設計方針で書いてあるものは使用表または健全説明書で書いてある環境運動だと言っているのです、
00:27:06	それと回ってないですね。はい。全体として整理をさせていただきます。はい。
00:27:15	はい。規制庁神戸です何見て設定例。
00:27:20	実際は設計図書だと思うんで方針のところは多分書いてないだけだと思うのでよろしくお願いします。
00:27:27	その下、(4)、圧力のところで、
00:27:31	圧力の構造設計の欄の説明がちょっと私には難しくてですね。
00:27:37	-400PASCAL だとか保守的色マイナス 600 とか書きつつも、
00:27:46	直樹で発想力を地震によるものが支配的で、評価に影響を与えないって書かれていて、結局、控除してんのかしてないのかよくわかんないんですけど、実態はどういうことなんですか。
00:28:14	余計に少々お待ちください。
00:28:34	はい。宮城西原でございます。はい。実際計算上はですね-600 計算してるようなので、なお書きが全く何を言ってるんだか意味がわからないところもありますんで全体、そこも含めて整理をさせていただきます。はい。
00:28:53	規制庁技術部にも知っとう。
00:28:57	その続き、274 ページで、5 番比重になっていて、今
00:29:06	移住として、
00:29:08	考えているのが内包流体の比重の話しかないんですけど、一方で、
00:29:17	今回のそのグローブボックス、
00:29:22	モデル化する際に、鋼材の比重な、どこから引っ張っているかみたいな話は、特になくてこれも 2-2 の話には近くはなってるんですけど、

00:29:36	こういうところは引っ張ってきますという設計の考え方ぐらいはあっていいかなと思うんですが、いかがですか。
00:29:44	はい、二本木西田でございます。上出幸というのはそもそも左側の設計放射の耐震計算をする基本方針とか計算書作成方針の基本方針で言っている比重のところを書いてあるのが、
00:29:59	内部流体の比重を、と書いてること自体が足りないってということをおっしゃってるんですかね。
00:30:06	はい、上出です。評価する際の、案外比重ってというのは、何も内部流体だけじゃなくて、スポン対そのものもあると思うんです。で、
00:30:18	それは(7)の材料特性に入ってますっていうのであればそれでもいいんですけどそこにも入っているように今思えなくてですね、実際にその
00:30:28	飛ばしているところの表を見ても材料そのものの比重の値は書いてないと。
00:30:35	ということなんで、(5)で一通り説明するのがふさわしいんじゃないかなと思ってんですけど、という問題意識です。
00:30:47	川合二本木2社でございます最もうおっしゃっていただいていることは理解をしました2-2の世界で評価をする上で必要な情報と、
00:31:00	というのが、この中で網羅的に出てこないといけないと。
00:31:04	その一つが、使用している材料自体の物性値をどうしているのかというところだと思います。はい。ので、全体整理をした上で、どこで書くべきかも含めて、整理をさせていただきます。
00:31:23	はい。きちり直感です。今のはな、石原さんの話だと多分カップなどの材料特性に入れたいいなあと感じているような感じに受けます。
00:31:35	と。
00:31:37	ええ、それでいうと、今、(7)で飛ばしているのが313ページ、材料特性、飛ばしているんですけど、
00:31:47	ここに、
00:31:50	密度の欄がないと。
00:31:52	ということなんでこれに川北津野か。
00:31:57	でもこれ、
00:31:59	昔から脈々と使っているフォーマットだから、
00:32:03	ぱり比重のところなのかみたいところを頭悩ませて、
00:32:07	思ってますので、よろしく申し上げます。

00:32:11	はい。日本原燃石原でございます。はい。承知いたしましたはい。
00:32:20	はい。規制庁坂です。あとは鬼神をやって、断面スウェイ。
00:32:38	規制庁亀井です。
00:32:40	6番の財盤面特性ですか。
00:32:45	これも方針に書いてあることがよくわからなくて、機器によっては方々ごとに云々だから、
00:32:53	ということですね。ええ。
00:32:56	これに対して、構造設計のところで、実構造を踏まえ断面特性を設定するって言われてもな、何を説明されてるのかよくわからないんですが、
00:33:09	そもそもその新田言いたかったのは何なのかっていうこともこれも北西に対してはどうなのかっていうことをちょっと説明いただけます。
00:33:26	規制庁鏡です。すいません。あれですね。
00:33:29	日方針のところの質点系については方向ごとにといて、入金要素は実構造を踏まえたから、見たい。
00:33:39	今のは下側を取ってますってはい。
00:33:42	瀬下川野グローボックスは実行ず小高踏まえましたと。
00:33:47	ただ、最低何の意味があるんやっていうのは、おっしゃる通りだと、何の説明も社員に近い度でここは説明をちゃんとしたいと思います。はい。
00:33:58	はい。
00:33:59	規制庁神戸ですその辺のあれですね、さっきの(1)番の寸法のところで断面特性でお話をしたことと一緒なんだと思うんです。特に、
00:34:09	反対どうなってんだって話なんですけど、
00:34:13	示してもらえればとは思いつつ、あとはあれですね、(1)番と(6)番で断面特性っていう場とかラップしてるんで、そこも三つ整理してもらった方が、多分
00:34:26	資料も作りやすい説明もしやすいしってことだと思うので、ご検討ください。
00:34:33	はい、弓削西原でございます。はい、承知しました。
00:34:42	はい、規制庁上末後材料特性は、
00:34:48	これも評価物の話なんできていうことではあるんですが、構造設計のところで、温度条件を踏まえて設定しましたっていただけじゃなくて、

00:34:59	基本的にはじゃ住めの別表だと思うんですけど、温度条件を踏まえてこれこれの別表なりこういうところから持ってきますっていうことが差異っていう、そこまで書いてあればいいかな
00:35:11	というところなのでもうちょっとだけ情報を足して、わかるように、定量できるようにというところをちょっと工夫いただければと思います。
00:35:25	はい、稲毛西山でございますはい。承知いたしました。
00:35:34	はい。規制庁深見です。次に、(8)の質量ですけど、
00:35:39	出漁わあ、構造設計の中で実構造を踏まえ設定しますと言われてもなかなか、それだけじゃわかりませんねと。
00:35:49	ということで飛んでるところは36番なんて、
00:35:57	さっきのあれですね。
00:35:59	313ページに飛んじゃって、
00:36:03	ここで、
00:36:05	あれですね、(8)番の資料はただ、地質構造を踏まえ、必要を設定しますっていうのは、これはさすがにあれですねちょっと。
00:36:14	作業間に合わなくてね売っちゃいましたってことでいいですか。
00:36:22	はい。宮野石原でございます。はい。すいません。何を書くか悩んだ結果な気がしますはい。
00:36:30	何か書かないといけないけどと言いながら質量のところであんまりなんかし、
00:36:36	ここで書くことあるかっていうこともあって、はい。ちょっとそこはもうちょっと考えます。はい。
00:36:44	規制庁菅です。何かいろいろ書くことがあるような気はしていて、要はモデル化していない部材の質量をどうすると考えているんだとか。
00:36:54	あとは内装機器があるんだから、内装機器はこうやって授業を算定してこういうふうにモデルに付加して結っていうことをちゃんと普通に説明してもらえればいいんじゃないかと思いますが、悩ましいんですけど。
00:37:11	規制庁古作です。やることは今、上出君が言った通りだと思ってるんだけど、これも先ほどの話にも通じるんですが、
00:37:22	274ページの一番左の欄でそう書いてないんですね。
00:37:27	要素にするものしか質量には考えませんって言っちゃってるんですよ。
00:37:33	何やるかって言う感じなんですけど。

00:37:36	ていうので全くもって書き足りてないんじゃないかということだと思います。で、これもう、ここにその寸法及び密度によりと言っててさっき比重で話題にしてみましたけど、ここだと密度って表現してて、
00:37:49	違うパラメータとして扱っていいんじゃないかなと想像してたんですけどそういう説明もしてくれないし、
00:37:54	今言ったような付加価値の話もちゃんとここで書かれてなさそうだし、
00:38:00	全般、ちゃんと書き切っていないところがあるので、そういうのを踏まえながらどう設定するのかということだと思います。
00:38:17	はい、宮城西田でございますはい。先ほど比重をどこに落とすのかという話も含めて全体、必要な要素がまず全部入ってますよねということも含めて、
00:38:28	整理をさせていただきます。はい。
00:38:36	子育てですってちょ、ごめんなさい。特に今の負荷荷重についてワーディングのものをどうサポートするかという、グローボックスがー。ええ。
00:38:50	直接支持構造物になる。
00:38:54	部分もあるということだと思う。間接かな。なりますので、そういった視点もどっかに入るんじゃないかなと思うんですけどそこら辺って何か配慮してます。
00:39:21	はい、西田でございます。今の時点で、全く書き入れてない時点で全然先ができてない気もしますのでモデルくんでは評価を基本的に考えていることが構造として、しっかりと、こういうものが必要な情報だという、
00:39:37	聞く出さないといけないという認識もありますので今一度ちょっとそこも含めて束の整理をさせていただきます。はい。
00:39:53	あれ、規制庁神です。次、
00:39:56	ようやく1ページは単純に175ページにいきますけど、
00:40:00	保留収益の算出で、
00:40:06	アイセックプログラムの話があるんですけど、これって、
00:40:12	新野一井。
00:40:13	の説明とすると。
00:40:16	いらないんじゃないかなっていう気はSIMMERすし、経産省を。
00:40:22	このプログラムの説明書でありゃいいのかなという感じはしますが、いかがですか。
00:40:33	はい、三宅西原でございます。はい。こういう収益の算出、

00:40:41	どうしても広告を上げた上でこれ何説明しようかなと悩んで、ここに線を行きましたが、おっしゃっていたここはどちらかという、
00:40:52	添付書類側の計算プログラムの適用、大きなところで、もう十分説明できるからここでわざわざ出す必要はないんじゃないのかと、いうことかと思えます 2-1 として何を説明するかってところをちゃんと整理して、
00:41:05	ようなものを十字展開をするという形で整理をさせていただければと思います。はい。
00:41:13	はい。規制庁管です。そういう意味で、次の設計用地震力も、5 かどうかっていうのは、2-1 で、
00:41:25	何か説明するのかっていうとこれも、
00:41:29	5 にしないっていう構造設計もおかしいんで、そういうふうにとこれも関係なくてってことだと思いますけどいかがですか。
00:41:43	はい、宮部西尾でございます。はい。この項目まずは、
00:41:49	1 回全部あげましたけど 2-1 で説明すべきことが何かということもちゃんと整理をして、
00:41:56	必要なものを変えていくということで整理させていただければと思います。はい。
00:42:02	はい、規制庁パミスって、その上で、
00:42:06	元次の減衰は私大事だと思っていて、構造をちゃんと説明してくださいということなんです。で、
00:42:14	溶接構造物であることからと言ってますけど、今回一緒の図面一通り見てもですね、どこがどう行政されてるんだっていうのがわからなくて、
00:42:25	逆にステンレスパネルなんかボルトで止めてるじゃないかという、支持構造物もそうですけどボルト等は結構見るんですけど、溶接してるようなところが全然見えないなっていう感じなんですけど。
00:42:38	実態上どういう考えでこれ 1%にして、
00:42:51	はい、日本原燃石原でございます。はい。フレーム部分とか簡単なとこですよね。あれは、4 節で、スポーツをつなぎ合わせてるということもあってと。
00:43:03	書いてはいますけど実際図面とかで、どこが要請されてるって書いてなくて逆に、押さえる冒頭を一生懸命書いてるみたいな感じになってるのでその、

00:43:14	説明をちゃんと構造図書の説明として付加していきたいと思います。はい。
00:43:23	はい、規制庁神谷さん。あとはそのミックスしてる場合ですよ。大体ミックスもんだと思うんですけどそういう場合は厳しいほうの譴責 RQD なのであればそういうところの方針で会計、
00:43:37	秋葉使用権と。
00:43:39	いうことの手当として必要かと。
00:43:42	よろしくお願いします。あとは、2-1 で関係しそうな機械的荷重なんかはがですね、
00:43:51	支店としてグローボックス関係ないかもしれないですけど、そういう話もありますし、あと、昨日来維持のところ、3.5. 2、
00:44:03	根井家。
00:44:06	あたりの説明かどういうものか、そのステンレスパネル部ってどういうものかと、あと磁性流体 C はみたいなものが、
00:44:16	今の、
00:44:17	詳細せ、これ実際に飛ばしているのか、
00:44:22	42 だから、
00:44:25	319 ページとかに飛ばしちゃっていて、
00:44:29	何かこれ機能維持確認済み加速度を、
00:44:33	の表が、ただ出てますけどそ、そうではなくてですね。
00:44:38	もっと手前のところでもうすでに説明してますけど、
00:44:46	どの辺かな。
00:44:50	200、
00:44:54	181 ページとかこの辺もそうなんだと思いますけど一つ一つのこういう部材がありましてと、閉じ込めを担保取材とかこういうものがありましてっていうのは、
00:45:07	もうすでに閉じ込め側の構造設計でちゃんと示しているんで、その辺りをちゃんとリンクをとってこういうところを今評価しているんだなと。
00:45:17	評価するんだなというのがわかるようにしてもらえればと思いますのでその辺り何をポイントとして示すのかという観点で、この整理いただければと思いますし、特に板井はその

00:45:30	耐震としてとか、個別何かつけるんじゃないかともうすでにここ前段で説明しているところはかなり多いと思うので、そこちゃんとリンクを貼って、
00:45:40	余計なものをふやさないでっていうことを意識いただければと思います。
00:45:46	はい、宮城白尾でございます。はい、承知しました特にそうですね機能維持のところは閉じ込め機能を維持するということで基本の設計は閉じ込め側で展開をしているところもありますんで、
00:46:00	それともリンクをとるということで整理ができればと思いますはい。
00:46:05	規制庁古作です。ちょっと今のリンクを張るっていうようなことの意味合いがどういうことなのかを、
00:46:11	の認識を確認したいんですけど。
00:46:14	私としては余計なこと等をしないという意味では、今回、耐震設計としての図面をいっばいつけてきたっていうこと自体2、
00:46:23	理解ができてなくてですね。
00:46:26	今、
00:46:27	上出が言った閉じ込めの方で構造説明しているところに、耐震設計上の配慮があるんだったら追求をしていくと。
00:46:37	いうことなだけだと思ってたんですよ。
00:46:40	それにちょっと全体体系、先ほどの水平リブがよくわかんないとかですね、そういう追加が必要なのもかもしれませんけど、
00:46:50	それが全く別個に作られちゃったんで、一体としての設計の説明になってないと。
00:46:55	複数の条文との関係性を整理した資料3であるべきということの対応ができてないっていうふうに思ってるんですけど。
00:47:04	どんな感じでやるつもりなんですか。
00:47:13	はい、日本石原でございます。リンクをとると言っていたのは元に戻ってしまうところはあるんですけど前はおっしゃっていただいているように、
00:47:26	同じ構造のもので複数の要求があるものは同じ図の中でこの部分は、閉じ込めの要求この部分は耐震上の考慮としての要求を達成するために、

00:47:39	必要な部位ですというのがわかるように書いておりましたので、その形にしようかということで思いながらも、とはいえ前回それをやって、
00:47:50	非常にぐちゃぐちゃになってみ帰って見づらくなったので今回分けたところもあるので、それとの整合というかセリフを取りながら整理をさせていただければと思いました。以上です。
00:48:04	規制庁古作です。前回ぐちゃぐちゃになったのはどんな感じだったか覚えてないんですけど、例えば、278 ページ行けば全体の構造が書いてあって、
00:48:15	耐震サポートという用語もあると。
00:48:18	ということなので、まずこの上のところに、
00:48:23	大枠の構造としての耐震上の考慮ということでは、吹き出しとして耐震の条文が書かれていてと。
00:48:32	ということ等で、他にもいろいろ考慮あるんだけどそれは別の部材の部分での説明は部材の構造を変えてるところでと。
00:48:43	ということで分けていけば、そんなにグチャグチャにならないと思うんですけど、どうなんでしょうか。
00:48:58	はい。二本木西田でございますはいグチャグチャにならないようにちょっと整理をさせていただきます
00:49:05	右向け右左抜け右左で全部がガーッと動いて、同じところにいっぱいグジャグジャ書き始めるパターンにならないようにですね、必要なところ必要だとここにちりばめていく形で整理をさせていただきます。はい。
00:49:20	はい。規制庁古作です。それで言うと、それで一つちょっとあれかな。今、最後の機能維持っていうのがやっぱり、
00:49:30	一番ポイントで、それが耐震設計の部分だけでいうと、非常にその他の機能まで含めて丸めて書いてあるので、
00:49:43	具体閉じ込めとして何をしなきゃいけないかっていうところが明示的になってないんですよ。
00:49:49	一方今回そこの部分をちゃんと説明してもらわないとってということだと思ってまして、
00:49:58	その中で併記。
00:50:02	は、加振試験で担保をとってます。その境界条件というか設計としての繋がり、換気風量で設定してて、

00:50:16	試験体系と同等ですっていうのはこういうふうに説明しますっていうのはこのパラメータでっていうようなこととかは、
00:50:24	そのパラメータになってるとこの図面で説明をされるということかなと思っているんですけど。
00:50:31	具体的にはパネルの設計とかいうことかなと思うんですがその辺り何か配慮してます。
00:50:48	有名で医者で少々お待ちください。
00:51:17	はい、弓削石原でございます。はい。そういったことが必要だという認識も今しましたので、現状は今、試験で見たものでしか速度でやりますとしか書いてないので、
00:51:31	その試験体の構造と実機との関係、も含めてその構造体でやった試験結果がそのまま使えるんだと、いうコードの適用性という意味も含めて説明が必要であるというふうに認識もしましたので、
00:51:47	この資料の中で展開をどうしていくかということを考えてと思います。はい。
00:51:53	はい。補足ですよろしくお願いします。そうすると、200
00:52:01	78 ページ以降ですね、具体的に言えばその市、次のページからになりますけど、ガス血糖の固定の仕方なり、
00:52:11	ていうところも含めて、試験体との関係というのを説明していただいたかないといけないと思うんですね。で、
00:52:18	そうしてくると後でも出てくるっていうことだと思うんですけど、そこで登場するのがやっぱり補足説明資料だと思うんですよ。
00:52:26	というところどうまとめていくかっていうのを整理をするということがとても大事かなというふうに思う。
00:52:39	はい、弓削西浦でございますはい。
00:52:43	そういう意味で書いたわけじゃないんですけどね。個別補足に飛ばして、記載だけはありますか。はい。
00:52:52	ところまで考えて書いたのかというとそれはちょっと微妙なところありますけど、全体を含めて整理をします。はい。はい。補足です。先ほど言おうかどうか迷ったんですけど、個別説明資料につなぐときに、
00:53:05	非常に漠っとただ、補足説明資料ありますよって書いてあるだけのように見えて、何の補足なのかっていうことでその意味合いがちゃんとわからないとですね。

00:53:17	この図面での説明としての対応がわからないがあるので、特に今のその試験体との関係とかっていうのであれば、明示的に書かないと。
00:53:28	いけないかなと思っています。
00:53:33	加振試験で
00:53:36	対応してるってところとそうでないところっていうのの色分けもちゃんとしないといけないかなと思ってまして、
00:53:46	グローボックスの部材の中での
00:53:50	変形に対応っていうのは、多分にそういうところに収めているような気はするんですけど。
00:53:57	前回位のヒアリングとかでペローズの話をしましたけど、そこはさすがに違いますよね。
00:54:09	はい。宮城石原でございます。はい。仰っていただければいいかと思う。その試験体自体は、あれペローズついてないやつでね、単品でやってんだよね。
00:54:19	はい。
00:54:19	そこを見ながら、設計としてのペローズ等設定をどうするか、その変位も含めてどう考えるかというところだと思っていますので、
00:54:30	全体の設計の枠からどこをどう見ていっているのかがわかるようにしないといけないかなと思います。はい。
00:54:38	はい。補足です。そこら辺のどの範囲が、加振試験対応でっていうので、その部分は、加振試験能勢構造との、
00:54:49	差分っていうこと。
00:54:51	それを外れる部分っていうのはどうしますっていうのが見えるようにということなんですけど。
00:54:58	現状即バー手当してるように見えなかったんですけど、前回行っていたはずで、どうなってます。
00:55:14	はい、乳井下石原でございますはい。言われ、
00:55:20	荷揚石原ござい、認識もありながら、追いついてませんあの先によってはですね、できてないのが現状でございますので、全体をカバーして整理をさせていただきます。ですね。
00:55:32	できてない分現状では落ちているをさせていただきます。
00:55:37	はい。規制庁管です。
00:55:39	どうぞ。

00:55:42	上出です。私最後にペローズの話をして終わろうと思ってたんですが、今話が出たんで私からは、ものを2ですか。
00:55:51	小崎です。
00:55:54	私からはもう終わりです。はい。上出さんのペローズで何回、具体的に言っておきたいこととかって何かありませんか。
00:56:07	規制庁、上出です。具体にておきたいっていうと、
00:56:12	規制ファミレスっていうと別ありですけど、例えば283ページに今般、整合性。
00:56:20	の話があって、
00:56:23	耐震評価上どうやって過去の機能がアップするようになってるのかなってというのは、単純にどうして載ってれば、なりましたけど、安全に教えていくときのビット。
00:56:37	それぐらいですかね。
00:56:40	規制庁の古作ですってその点で、
00:56:43	耐震側とのリンクになるので耐震の基本設計方針からの展開を分解して抽出しなきゃっていうことがあったんだと思ってたんです。で、
00:56:53	その元が、先ほどから上出が言っていたんに、もう少し前のページのところの方針だけだとブレイクしきれないから、
00:57:05	計算書とかも念頭に置きながら整理をしてよということになっていたと思ってて、それ持ってきたにもかかわらず、2-2の本の意識ばかり強くなって、2-1としての考えが足りないから結局そこのブレイクができてないと。
00:57:20	いう結果として
00:57:23	今の200、
00:57:25	すいませんね。
00:57:27	と、あれかみさん何ページでしたっけ。
00:57:36	はい。283ページですかね、大坂です。ありがとうございます。
00:57:44	美術館183ページのところに、結局十条としか出てこなくて、耐震コメントがされてるにもかかわらず、耐震の条文を書くということすらできないと。
00:57:55	いう状況になってて書こうと思えば、表の方に戻って、どこの部分に紐づけるんだっけというので機能維持っていうのが出てくる。

00:58:04	そこで分解し切れ打ち切れてないんだなってどういうふうに入れていこうかと。
00:58:10	いう検討をし、前回、口頭では、変形で、
00:58:15	考えてますということだから変形をこの程度に抑えると、というような話があり、その変形を許容するベローズをつけるという構造設計になると。
00:58:26	ということだと思っていたというか前回そういう説明があったので何で書いてないんだっていただけなんですけど。
00:58:32	ええ。
00:58:36	出演したっていただけなんですかね。なんですかね。
00:58:47	はい。日本原燃市田でございますはい。前回そういうやりとりをさせていただいたと思うんです。認識しております。
00:58:56	全部全部対応できてない状態で資料を出してしまったということだと思ってます。はい。302 ページとかにグローブボックスの密閉性を書くっていうのがいいのかどうか、ご意見あれですけど。
00:59:09	耐震が投入上これをやってその上の経営力を超えないようグループ構造強度学校するもしくはプレートのためのページをまたうんたらかんたらと書いてあるところですけど。
00:59:22	こういったところで六条としてのベローズの話を書いたつもりでは、だからそこがうまく、必要なところとの紐づけだったらいいかと言ってないということだと思しますので、
00:59:37	引き続き整理を進めたいと思いますはい。
00:59:42	規制庁古作です。わかりましたそういう意味だと、やはり 302 ページで耐震として抜き出しちゃったから、話がうまく整合しないということだと思うので、
00:59:53	しっかりと対応する部材、部材の構造設計というところで、しっかりと、
01:00:02	集約してですね、書いていただきたいと思ひますし、現状だとこれだとベローズについてどうかっていうのが非常に曖昧なんですよね。他のとまとめて書いちゃってるので、
01:00:13	そういった点ではちゃんと分解をして、まとめる必要があるかと思ひます。で、
01:00:20	これでも最後のベローズ構造設計 (6) って、

01:00:25	なっちゃってて、
01:00:27	そっち行くと何もその説明になってないから、やっぱりどっちつかずなんじゃないかと思うんですけど。
01:00:38	それをつなぐところで、多分その上の許容変位量と、
01:00:44	いうことで、
01:00:45	説明し切っちゃってるんつもりなんだろうとは思いますが、
01:00:54	どちらかというとその、
01:00:57	それも含めて、ベローズの構造設計の方に持っていった上で、その許容変位量におさまっているかは、耐震の2-2、
01:01:07	の方に引き継ぎますという古藤だと思っています。
01:01:12	よろしいですかね。
01:01:15	はい。日本語と一緒にございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思ってます。私変位量を設計としては押さえた上で実際その中に収まっているかは2-2の評価の中で見ていくということで整理を考えていますそれが今どこに書いだけ。
01:01:33	272 ページですかね、構造設計等評価で、
01:01:40	紐づけて書いているところだという認識をしますか。
01:01:47	でも、
01:01:48	うまく書いてないですねこれ。はい。もうちょっと整理をします。
01:01:52	規制庁古作ですまず表の中で整理をするのはそれでまず必要で、その上資料3の図でも、
01:02:03	評価に繋がるっていうのを書いていただくんだと思ってたんですけど。
01:02:07	違いました。
01:02:11	はい、与儀西田でございます。定量化切れてませんという前提にお話をしますけどそう書いた方が全体の繋がりであったり、2-1 ドリンク構造設計でどこまで見なきゃいけないかがわかると思うので、整理を、
01:02:27	させていただきます改革方向で整理をさせていただきます。はい。
01:02:31	はい。補足ですお願いします。そうすると一図のところ、先ほどの2-2の補足っていうことも含めて見えるようになって、
01:02:42	具体は2-2側の説明の方に移行はしますけど、全体像としての説明ができ、先日の進め方ヒアリングの時にも話をした、その点も含めての全体像として扱いの議論ができると。
01:02:58	いう資料になるんだと思いますのでよろしくお願いします。

01:03:06	はい、宮城西原でございます。承知いたしました。
01:03:13	規制庁規制庁菅、ごめんなさい。今も前回言ったからベローズで言いましたけど、それ以外にもまだ幾つかあるんじゃないかなって気がしますので、
01:03:23	細分化して整理をする際には漏れのないように、
01:03:29	上出さんどうぞ。
01:03:33	はい。規制庁上井です。今話を聞いてて272ページに表で、
01:03:40	ベローズの話が出てるんだなあと思って、
01:03:44	そうなるって何で274275にこれが展開できていないんだとかですね、その辺りのちょっと関係がまたこれからの、
01:03:54	整理で考えることなのかかなと思ってあと272は、構造設計として考えること評価として考えることは2-1、2-2、分かれているのか。
01:04:07	274275だとごっちゃになってるってことなんだろうと思ってますのでその辺りを、整理を出図していくんだらうなと思ってますけど事業所、
01:04:19	うん。はい、石原でございます。はい。資料の段階でその物を、構造設計であったりというところで紐づけて整理していくかと。
01:04:30	いうところで、270275に書いてある、添付書類も含めて整理をするということと、それを基に資料3に来れば全部がジョイントした形で、今の202、72みたいな形になりますんで、
01:04:46	そこも含めて書き方の整理をさせていただきます。はい。
01:04:51	あと整理をさせて、170475のところではベローズ足が出てこないのは我々の1回で認可をもらったこの計算書作成の基本方針とかの読み方が甘いのもかもしれません。
01:05:04	馬の三瓶牧田大越、高なかったということでございましたはい、すみませんでした。
01:05:12	はい。規制庁鏡です。275のところには多分本当入って欲しくてもしかしたら最初の
01:05:20	第1回の際は2省力見て何か関係なかったから抜けちゃってたのかなとは思いますが、今回、ちゃんと手当をして、
01:05:32	入れるものを入れるということも今回の作業だと思いますのでよろしく願います。

01:05:39	規制庁古作です。その点、私もそう思ってますのでよろしくお願ひします。で、
01:05:44	ちょっと戻るとですね今の 272 ページなんですけど、
01:05:48	これも最初に話したところになります、一番下のベローズのところですね。
01:05:56	構造設計の方はベローズの設計というよりは、
01:06:02	筐体側の清設計として、変形量を抑えると。
01:06:09	いう話になっている一方で評価の方はベローズの拾うということになっていて合っていないんですよ。
01:06:18	多分これもそれぞれ書く必要があつて、
01:06:25	筐体側でいえば耐震設計で
01:06:29	変位量を確認しますだし、
01:06:32	ベローズ側は
01:06:34	耐震なり何なりの変形を踏まえた
01:06:40	疲労強度を持たせますということだしてということだと思ふので、しっかりと対応付けて、その上でそういう対応がわかるように整理をします。
01:06:50	ということかと思ひますのでよろしくね。
01:07:11	はい。日本原燃石原でございます。はい。272 ページのところおっしゃっていただけてるまずは、ベローズクロボクそれぞれどういう設計にするのかと。
01:07:24	いうことを、ちゃんとコードを設計として示し、グローブボックス側との片理を制限すると言つてその辺の中に収まっていることを評価で確認する指定グローブ、
01:07:36	ベローズの方は、疲労累積係数が 1 を超えないと、いうことによって閉じ込めだつたりの要求が満足できることを見ていくということかと思ひますので、
01:07:48	設計と評価がそれぞれちゃんと対になるように、整理をして記載をさせていただきます。はい。
01:08:00	院長山口です。僕は、耐震関係で規制庁側から特にございますでしょうか。
01:08:18	田井川崎です。
01:08:20	だって今まで

01:08:23	こちらからのして聞いにかなり近いところもあるんですけども、詳細が なっていていいですか、この間話とといいますか、蛇足的な話というか、理 由になってしまうかもしれませんが、ちょっと確認したいと思いま す
01:08:36	まず 274 ページの先ほど来あった解析モデルについての設定方針のとこ ろですね、どういう場合に、FM するのか或いは梁要素にするのかとい うような、
01:08:49	考え方をしっかり示すようにということだったんですけども、
01:08:53	今回経産省見ててもですね、FM を 3 次元のモデルでグローボックスの 解析をやってるっていうのわかるんですが、
01:09:02	内装機器を考慮する場合と考慮しない場合がありますんで、その内装機 器をどういう場合考慮するのかしないのか、これ
01:09:12	決算書にも書いてありますけども相互作用を考慮する市内の関係になっ てきますので、振動特性としては、結構影響があり得るものです。
01:09:23	ので、例えば重量比が、こういう場合は考慮しますとかですね、或いは いや、すべて内装機器に関してはあるものは考慮しますとか、
01:09:34	或いは主要なものに関しては考慮しますとかですね、何らかの考えが、
01:09:40	あってしかるべきだというふうに考えますので、今、何かそこも内装機 器を考慮する方針といたします考え方について説明はできますか。
01:10:06	はい。日本原燃石原でございます。はい事実確認をした上で整理をして させていただきますが基本原則は、内装機器は評価上見ると、
01:10:18	考慮すると、ということが前提だと思ってます。今浜崎さん言われるよう に見てないものがあるっていうんだとすると、それがなんでそんなもの が出たのかっていうのも含めて事実確認をして、
01:10:29	でき適切な設計としての示し方たりしないといけないと思ってますは い。
01:10:36	はい。規制庁浜崎です。
01:10:39	ある意味これ制震効果を生む可能性もあったりとかですね或いは逆に共 振させるという、というような効果も考えられるわけですので、
01:10:49	藤進藤モデルという観点では重要なファクターだと思いますので、しっ かり説明の方をお願いします。
01:10:55	あと二つありましてですねもう一つ 274 ページの境界条件のところ で、ちょっと、

01:11:05	細かめに書いてあるんですけども、
01:11:08	基本複数のボルトで占められてる場合には、固定ですねで、そこに謝罪が入る場合に関しては、並進さんを要は品にするという、
01:11:21	説明が書いてあるというふうに理解しています。
01:11:25	で、具体的に先ほどもこれ出てきました 300、5 ページ、通しですね 305 ページかな。
01:11:35	見ますと、
01:11:39	拘束条件のところに印があつてですね
01:11:46	あごめんなさい 309 だ、309 ページですね。はい。
01:11:51	赤丸の場合と、赤三角の場合があつて多分こちら辺で使い分けをしていると思つてます。
01:11:59	ただ、赤丸のところって、これ、これをもってブレース II 謝罪を、
01:12:06	有している接合部っていうふうに評価に本当にしているのかどうかですね。
01:12:11	まず、この赤丸と赤三角についての説明って今できますか。何が違うのかっていうのは、
01:12:55	規制庁館ですけど、二本木でございますはい。すいません。私も専門家ではないのでいろいろ聞きながら回答しますとちょっと時間をいただきました。
01:13:05	先に少々お待ちくださいと言うべきでした。赤瀬さん方の方はピン支持みたいに見ているところがこれと一本として見ていく、高速上、こういう条件ですかね。
01:13:19	ものが赤三角泊まる方が、三木大の図の方から 4 点支持みたいな形で
01:13:32	井田井上の方に赤枠で囲つてあるところの構造みたいになっているものが赤は赤マルでございます。はい。
01:13:42	はい既設浜崎です。
01:13:45	今
01:13:45	そうですねそういった説明をしっかりとしてもらいたいというのと、
01:13:55	あとその 274 ページのこの記載が今ひとつわかりにくいっていうか、ちょっと本当なのだろうかということ
01:14:14	んし、ごめんなさい、275 ページですね、拘束条件のところ。
01:14:25	同じ。
01:14:28	ごめんなさいやっぱり 170、176 条系のところの 274 ではない。

01:14:35	いいですねその機器の耐震設計の基本条件のところですけども、
01:14:41	アンダーラインを引いてあるところの下から三行のところですね
01:14:47	正しいこのところですね。
01:14:50	謝罪がある場合はトラス構造のような場合には複数のボルトで固定されていてもし、
01:15:01	並進成分が
01:15:02	精神荷重が支配的になるとかですね、それによって結局3方向、並進3方向拘束二つこれ買い回転は許すという意味だと思うんですけども、
01:15:14	これっていうのは、何か根拠といいますか、になるものはある。
01:15:20	という理解で、この文章書かれてるんでしょうか。
01:15:33	はい。二本木西田でございますはい。まずそもそももってまず我々として整理をしないといけないのが、
01:15:43	まず274ページの左側と真ん中で、真ん中がまだ全体的に適用できるとしても、左側第1回、最初の危機を踏まえてどう設計しようかということを書いたところで、
01:15:58	今回第2回でMOXになった時に適用できる鶴対象物かどうかも含めて、対象ちゃんと整理をして線を引いて、しないといけないと。
01:16:09	でも、あんたたちでもこれ使ったんじゃない。
01:16:12	風邪ひいとる誰。
01:16:15	またあんたたちが河成片言誰が行くんだよ。
01:16:18	これ使うと思って書いたんじゃない。
01:16:23	違う今回のこの表を作る時だよ。
01:16:27	部長だろう名は責任持ってんじゃないのかよ。
01:16:31	いやもう、はい。ちょっとこの河成の人も含めて再度整理をさせていただきますはい。
01:16:37	はい規制庁浜崎です。
01:16:40	ちょっとこの文章に対して内容をもう少しもっと理解すべきだというふうにこちらも思いますんですけども、きちんとでもしエビデンス等あるんならばそれも一緒に示してもらいたいと思いますので、準備の方お願いしたいと思います。
01:16:54	規制庁浜崎最後なんですけども、これ先ほど館委員の方から話があった防火シャッターの扱いなんですけども、資料ですと287ページ辺りに出てるんですが、

01:17:07	これ
01:17:09	耐震計算書の方にもですね、確かに防火シャッターに関しては、その閉じ込めのバウンダリーを構成するということで評価の対象とするっていう記載があるんですね。
01:17:22	で、実際これ防火シャッターの、或いはこの防火シャッターのフレームだけかもしれませんけども、それを、
01:17:28	強度部材っていいですか、構造部材として目指して、評価しているのか、ちゃんとモデル化をしているのかっていうことを確認したいんですけども。
01:17:40	具体的に防火シャッターをどういう評価をし、モデル化をして評価をしているのか、説明をしてもらいたと思います。
01:18:08	アニオンギリシャ少々お待ちください。
01:18:41	はい、二本木西原でございますちょっと整理をして別途回答できるようにしますんでモデルをそれぞれ組んで、冷静させてやってると思うんですけど、シャッターの枠組み部分は、それをモデルとして、構造、
01:18:56	ー大指とかも考慮してモデルを組んでいてそれをグローボックスと連結している形で、モデル組んで評価していると思うんですけど具体的にどうやってるかっていうところを、
01:19:06	実際、もう一度ちゃんと聞いてですね、回答できるようにします。実際はWACだけはグローボックスと連結してますんでそこ、
01:19:16	協会として部材を見ると、シャッターの中身自体は単純で重量として、モデルの中で考慮しているという形だと思うんですがそれを具体的にどうやってるかは別途、整理をして回答させていただきます。はい。
01:19:29	あ、失礼、ごめん。規制庁の館です。鳥越の観点からの整理なんですけど防火シャッターに関してはブロックとブロックの境界ブーの話ですね多分。
01:19:40	にいるやつになってるので、要は、シャッター部だけで言うんだったらそこが壊れても別のグローボックスに行く形になるのでバウンダリーがその次のところのグローボックスであれば別に問題はない話になっていて、
01:19:53	他方で、その防火シャッターの枠部分っていうのはグローボックスとほぼ一体になってバウンダリーのような位置付けになるのでちゃんと評価してますよと。ただシャッター部はそれ自体が閉じ込めのバウンダリーと

	いうよりは耐震への影響を与える観点で考慮しているだけですよとかそういうことでよかった
01:20:11	はい、宮城仁科でございますはい。おっしゃる通りだと思ってます。はい。
01:20:19	はい。規制庁浜崎です。今のような状況であったりですね具体的な内容について計算書を見てても、全くそれはわからないので、もう少し詳細な説明を、今回の
01:20:34	この共通住民なのかなんかの説明としてしてもらいたいというふうに思います。
01:20:41	私から以上になります。
01:20:48	古作です。今の点ですねまず計算に鍛冶赤字じゃないや、重量を加えるのはそれはそうだろうなと思うんですけど、
01:20:58	レールにぶら下げているという関係からする等、
01:21:04	バタついて、下の方とぶつかるんですよと。
01:21:09	いったときにわあ、どうなるのかっていうのは、何か整理されてるんでしょうか。
01:21:39	ボルトだけだと弱い気がしない。
01:21:46	いや、でも、モノレールはバグ入れるんです。
01:21:51	その分の波及は見て、
01:21:56	この固定は見るボトルでいいでしょモデルで、落ちないっていうのも見ているって下で量があって0°幅の間で動いても、他に波及影響がないっていうのを見てると、
01:22:08	だそうですすみません。はい。小阪です。それをどういうふうに見ているのかっていうのは説明をしてください。よろしくお願いします。
01:22:16	はい、宮城石田でございます承知しました。
01:22:24	院長山口です。あと他、
01:22:27	耐震関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
01:22:34	はい。それで他は共通に全体を通して、規制庁側からたり確認あります。瀬戸丹治ですすみません共通原因で自分から2点だけ耐震とそのあとにあるやつで、2、
01:22:47	2ヶ所だけなんですけど、いずれも、
01:22:50	今後示しますよってことな気がするんですけど
01:22:53	やっぱ23ページで、

01:22:55	320 ページから気にかかる変更点という形で示されていて
01:23:01	要はいたとかますよとかそういったところが書かれてるといのは認識した上でなんですけど、
01:23:06	ここらの変更の理由とかっていうのが、今後、どっかで示されるのかなんですけど大体やつはそれはそうなんだろうなって気がするんですけど 323 ページで、
01:23:17	また勤務になってる山崎宮武の真ん中ぐらいのところで、耐震って書いてあってボルト本数変更でボルト減らしてるやつ。
01:23:25	はいて、
01:23:26	設計方針見ると適切な数で設計しますよっていうところなんで、適切な数なのかもしれないですよ。こういったところって、作るの考え方ってどっかで示すんですけど、
01:23:38	それとも、減らしたやつでも大丈夫だからもういいですみたいな説明になるんですけど、
01:23:45	はい。日本原燃一緒でございます。まずは説明をしっかりとさせていただきます。すみません減ってるのがあるのに今気づきました。はい。基本、大きくなる太くなる増える方向等で、
01:23:59	そこまで説明しなくてもいいかなと思っていたところにこんなのがあったのですみませんが逆引きに見えるところが担保なぜこれでいいのかの説明を含めてさせていただきます。
01:24:11	はい。規制庁谷井です耐震厳しくなったんで今説明されたように
01:24:17	ならわかるんですけど理由がまたわかんないやつがいるとちょっと困るんです。
01:24:21	せめて9にしていただければ、
01:24:23	と。
01:24:24	あともう1点はすみません、ざっくりなし的な。
01:24:29	配置設計の図
01:24:30	が乗っかってるんですけど、
01:24:33	何か配置設計として何。
01:24:38	いただけますけど、
01:24:39	左側んところとかね
01:24:42	近傍にクレーンと起きませんよっていうのをこの図のどこで見ればいいのかどうかもわかんないですし、

01:24:48	右上のところの発行も取り扱うように応じてくるボックスを設置します 確かになんかはい違うすれば見えるからわかるじゃんわかる紐しつつ、
01:24:56	配置設計ってこの図で何を示したいですかっていうところをはっきりし てもらえると助かるんですが、
01:25:08	はい、二本木西浦でございます。はい。配置図1枚で、の答えを出そう としたのが多分間違っていた気もしますので、全体として必要な情報 を、
01:25:20	付加して、説明をさせていただきたいと思います。はい。はい。すいま せん古作です。別に配置図1枚でもいいんですけど、
01:25:30	必要な情報が入ってないっていうことだと思います。で、判例で①②③ というのグローブボックスが、
01:25:40	あるかのように書いてありつつ、配置図に書いてないから、何説明して んだっていう、
01:25:47	書いてある。
01:25:49	本当だ。青でハッチングしてますけどすればこの場所自体を特定できな いようにしないといけないんでマスキングしちゃってますけど、①②っ ていう番号はボックスにそれぞれ、
01:26:01	書いてはありますはい、古作ですわかりました。で、そうすると、クレ ームは、
01:26:09	はい。ここはですね米印で補足を作りますと言ってぶっ飛ばすで終わっ てるところでも意味が全く繋がってないと思ってますので、ここで何を情 報を示すのかっていうところをちゃんと整理してか、必要なことを入れ たいと思います。はい。
01:26:26	はい。昨日、
01:26:28	そういう米ですか。
01:26:31	それだったら、図いらないですねっていうことになっちゃうっていう ので、大枠はやっぱり示していただいて詳細はっていうことじゃないか なと思う。
01:26:41	少しこの図面、この資料で何まで説明すんのかということは考えてい て、
01:26:51	それで言うとですね、
01:26:54	これ8月の審査会合で説明するつもりなんだと思うんですけど、
01:26:58	どういうつもりでい制御してます。

01:27:10	具体的には会合でどの部分を説明するつもりかと。当然、この間の会合でも、
01:27:19	別添の形で、ヒアリング資料をそのまま出されているように、この資料一式出されるんじゃないかなと思うんですけど、説明の骨格としては、
01:27:32	何らかである、整理して提示する必要があるかなと。
01:27:37	思っていてそのあたりの説明方針っていうのを、
01:27:41	もう念頭に置きながら資料作られていかないといけないのかなと思うんですけどいかがでしょうか。
01:27:48	はい。日本原燃一緒でございます。はい。設計としてどういうことを考えなきゃいけないかっていう概念であったりそれをどう具現化しているかというところを、エッセンスとしてしながら、
01:28:04	最終的には別件でつけるということだと思いますけどおっしゃっていただいているように頭でそもそもどういう説明をしたいのかと、それつもりなのかっていうのが整理できてないと、どんな情報が、
01:28:15	別添2 必要なのかも決まらないと思います。現状すいませんそこまで考えているかという、そこまで頭が回っていませんので、そこも含めてその方針を示すのが、
01:28:27	Steering チームの役割だと思いますので、そこをしっかりと整理をしていければと思っていますはい。
01:28:35	はい。補足ですよろしくお願ひします。そこも念頭に置くとはですね、何ページぐらいでこの程度の話をしてここを補足だなとか、いうこともイメージがついてくるんじゃないかなと思っているのでよろしくお願ひします。
01:28:49	私からは以上です。
01:28:54	規制庁山内です。他、共通中に全体をしてでも規制庁側から確認ございますでしょうか。
01:29:04	よろしければ
01:29:07	比嘉絵里衣
01:29:09	たいと思いますが、今回も10分ほど休憩を挟んでいいですかね、原燃側に確認です。
01:29:20	はい。二本木西田でございます。はい。10分ほど時間いただければと思います。
01:29:30	にします。

00:00:04	規制庁の田尻です。それでは元の方から振り返りをお願いします。
00:00:14	はい。
00:00:15	宮城西原でございます。はい。今回のやりとりの全体の資料構成に関わる部分として一つ目、①番として、
00:00:27	資料1別添1にもう部分ですけども、今日の目的自体をまず明確にするということと、本文の内容との重複がありますので資料全体としての目的を
00:00:40	示した上でふっ化ないように整理をするということ。
00:00:45	②番として、資料3の構成を設計説明ぶり現成立になっていますが説明グループとの繋がりがわからなくなるということもあるので、
00:00:56	資料3自体は設計説明分類で整理をしたと思いますが、説明グループとの関係を、何らか整理をしていくということだと思ってます。
00:01:06	③番、
00:01:11	資料3の冒頭につけた業績方針等どこで説明するかステージの結果でございますが、これ自体がバックと書いてあるので、そこの整理とあと資料2との関係、全体整理をしていくと。
00:01:25	ということかと思えます。
00:01:26	はい。あとは、
00:01:30	これ4パターンだと。
00:01:34	そっか説明方針、文化、全体本部そのものですね、
00:01:40	全体の構成も含めてEE設計説明文の設定と説明方針というのの関係とこののを整理をして、本文の構成も含めて見直しをするということ。
00:01:54	あと、⑤番、参考資料をつけてますがこの参考資料が最新の状態になっていないかの整合がなんていうのもありますのでこれ上の方の、あわせて最新の情報に、
00:02:05	整理をさせていただきます。
00:02:07	はい。⑥番も、資料3の冒頭んところで後段で説明するというのではなくて全体説明グループの関係を整理した上で、どの説明グループ出てくるのかというのがわかるように全体資料の構成も含めて整理をすると。
00:02:21	ということかと思ってます。
00:02:24	はい。次資料1関係でございます。伊勢町の蘇武です。今最後の、
00:02:31	最後、6番ですね、説明グループの情報を追加じゃなくて説明分類じゃなかったでしたっけ。

00:02:42	そうですね説明、代表として説明する或いはその徹底説明分類を行った上でそれがどのグループで出てくるかここではないようだったらそれがわかるようにするってことね。はい。
00:02:53	補足ですわかりました。
00:03:02	はい。
00:03:04	7番でございます。はい。これ大枠として施設購入添付でついている申請対象設備リストと今回の資料1、不正がないようにということと、
00:03:15	あと施設共通基本設計方針で分類しているものをこれとの関係を整理をするということです。
00:03:21	あと⑧番が、これはもう取得の方の新規変更施設新規とかのいろんな改造も含めた変更区分の記載の話、これ
00:03:33	審査会合でも申し上げた通りでBに分けるとときにMOXとしてどういう設定をするかということとの整合も含めて整理をさせていただきますと、
00:03:44	ということです。
00:03:45	9番は軽油設備の話で、複数に関係するものをどうを示していくかということ整理をさせていただきます公的併せて仕様表の記載方法との関係も含めて、
00:03:59	で利用するということ。
00:04:01	10番でございます。
00:04:06	キリンからの変更点对比耐震評価の結果の条件の整理を、変更点とね、ここ変更項目自体も、どう示していくかということも資料の目的との関係で、
00:04:19	整理をするということだと思ってます。はい。あと11番は変更点として挙げながら、丸がついていないという不整合の点だと思ってます。はい。
00:04:32	相次ぎ資料2でございます。はい。資料2が、各条文の設計方針のところですけど、12番、
00:04:44	これ臨界のところでもいろいろやりとりをさせていただきました設計説明、設計方針の説明を他の設計説明文に飛ばして、やりとりをする、どこを代表にしているかというところの整理がちゃんとわかるように、

00:04:57	資料2の記載を拡充をするということかと思ってます。はい後1013万が、設計分類して設計だったり評価だったりということの、まず書き方をどうするかというルール化の話と、
00:05:14	それぞれそこにどういうことを書くのかということの、その資料の目的との関係での明確化ということかと思ってます。
00:05:24	はい、次資料3の関係でございます。
00:05:28	ごめんなさい。あと、
00:05:30	えっと、もしかしたら資料3の方にあるかもしれないんですけど、資料2、
00:05:35	について耐震で大分整理が適切でなかったり、
00:05:41	ということだったり、或いはそれ以外も含めて資料3を踏まえて資料2を拡充しなきゃいけないと。
00:05:49	いう項目あったと思いますけど、そこら辺は資料3の方でまとめてんのですかね。
00:05:56	はい、宮城西田でございますこの後資料3があつてさらに耐震関係が続くのでそこで書いてあったと記憶をしています。はい。古作ですそうだとすると、耐震だけじゃねえぞっていうところがあるので、
00:06:12	書いて、後ろに書いてあってもいいですけど、資料2での対応事項としてちゃんとの実数をしといてもらった方が、
00:06:22	今日参加していない Steering チームの人に認識させるという意味でも大事かなと思います。
00:06:35	270275 で、
00:06:39	はい。新居上西屋でございます。はい、承知しましたどっちを直せばいいかな。
00:06:47	はい。15でも崩壊熱除去の話ですよこれ MOX としての設計の繋がりの中で、17番がタブ 274275 点資料2の側でちゃんと整理してねって話で、
00:07:01	これが、
00:07:02	資料2で何を説明すべきかっていうところの整理が、耐震だけじゃないよって話だとするとそこに書いておくのが一番いいのかもしれないなと思いつつ、はい。ちょっと頭の整理をちゃんとします。はい。
00:07:16	この17番と15番両方書きますか。
00:07:19	お金も含めてっていうのを、

00:07:21	古作です。移すというよりは、そこはこれで置いていて、それを全部受ける前、水平展開項目として、
00:07:33	資料2の方に1項目立てておけば
00:07:36	安全かな。
00:07:38	わかりました。13番の後かな、もう1個起こして、
00:07:48	今つけとくか、16番とか28番とかの話、全体として、他の項目にもちゃんと反映をするっていうこと。
00:08:01	はい。
00:08:04	それを例示として資料3で十分な記載ということを整理の上で資料2の方に反映をするとか、
00:08:14	ああいうタスクを入れておいて、
00:08:23	社長丹治敏両にてなんですけどこっちから指摘する前に市原さんの方から言っていたような気もするんですけど資料の構成を多少いじって要は、
00:08:34	土肥通の、どの分類のところで何を説明するのかとかっていうのを整理しますっていう話があったかと思うんですけど。
00:08:40	それは、
00:08:43	4名。はい。入れますね。はい。中SAMそうですね12番のところを今まとめているのか、設計説明ベルトバス飛ばさないの話の中で、
00:08:56	あ、わかりました。ちょっとバス飛ばさないだと何か表の中で括弧書きで書いてさ。
00:09:08	そのまま現場で、
00:09:10	ID番号、新しく作る必要ないんですけど、
00:09:14	91ページからの表の整理であるとか、そもそも表の構成としてこの行足すとかそういう話だったと思うんで、これの話がわかるようにだけしていただければ、
00:09:23	そうですねはい人間にして12番の後に、越冬せ、
00:09:28	資料2の中で代表として説明する説明グループとの関係を示す欄を追加するっていうのが糸井。
00:09:45	わかるかな。後で直すか、
00:09:48	瀬田です。認識は、
00:09:51	はい、お願いします。
00:09:54	はい。

00:09:55	次資料3に仮設定いただきます今田と15番ですね。はい。図面に書いてある寸法とかの情報が馬場町バスなどで、
00:10:08	まだちゃんと何を説明しなきゃいけないかと、いうことを整理した上でそれに必要な情報を付加していくということかと思います。
00:10:16	はい。16番が、崩壊熱除去の設計の時に、換気設備のシステム設計と単品単品での構造設計との関係ということで、資料2での整理等資料3でどこまで何を説明するかと。
00:10:31	いうところの整理をちゃんとしないといけないと。基本的には資料2の記載が前にもプアーだったというところだと思いますけども、繋がりも含めて整理を拡充させていただきますと、
00:10:43	ということでございます。
00:10:44	はい。17番は、これは閉じ込め等の容器落下の関係の説明で設計で何を担保するのかっていうのを非常に曖昧にしながら、
00:10:55	評価の指定を変えてしまっているので、まず設計として何を要件として担保をしてその条件からするとそもそもグローブボックスのパネルに落下してショートするようなことはないんであればその設計をちゃんと書いて、
00:11:10	そういうことだという繋がりをすることだと思います。何に軸足を置くかってのちゃんと決めて、設計の整理をさせていただきます。
00:11:20	はい。と規制庁永戸です。はい。
00:11:24	これも後ろに書いてあるかもしれませんが、ここでの説明ロジックにも入るかもしれませんが、2-2も念頭に置いて、
00:11:34	とか、補足説明資料をつけるというところでの住み分けっていうことだったりってのはどうなってます。
00:11:45	はい、与儀西尾でございますはい。1067含めて全体的にそういう点が必要なことだと思いますので、
00:11:58	忘れないためにも、17番のところにはまずは2-2の評価との関係も含めて、
00:12:05	2-1として説明することを、整理をして展開をしていくということ。
00:12:13	あとは、個別補足説明資料等の繋がりで説明するものってのは、どういう、そのひもづけなり、関係を整理をして説明をするということを、
00:12:24	いたしておきます。
00:12:27	はい、規制庁の古作ですよろしく申し上げます。

00:12:31	追いついた。
00:12:32	あれは諦めたっぼいな。
00:12:38	今書かないと忘れるようで、
00:12:42	笠毛さんに交代して、
00:13:08	はい。次が耐震関係でございます。はい。
00:13:14	これ耐震設計のプロセスの条件として計算書の作成方針と資料3に整理をしていますが、もともと私も違和感を持ってたので資料2で本来やるべきことかなと思いますので、
00:13:28	資料の中にの中でまず全体としてどういう、添付書類等々も含めて整理をすべきか、構造設計とひもづけるべきかということの整理も含めてやらせていただくと。
00:13:40	その中では2-1なのか2-2なのかという線引きも含めて整理をして、2-1を説明するときに、2-2のことも考えて説明しないといけないものはしっかりと2-1として説明していくということかと思います。
00:13:56	はい。耐震ところは特に治療にからの全体上流からの繋がりを含めて再度整理をすると。
00:14:01	ということかと思います。
00:14:03	はい。データ等19番20番はこのこと書いてることについてまずは2-1として何を説明するかっていうことをしっかりと整理をすることが必要かと思います。
00:14:15	はい。
00:14:16	21もそうですね。はい。
00:14:20	20には環境条件これ書いてあることやってることが違ったところをちゃんと適正化させていただきます。
00:14:27	はい。23バーについては、これは閉じ込めでタップしている設計を前提としながら、かつ、
00:14:39	耐震としてもこういうことを考慮するんだということが同じ設備に対して、同じ図面を使って整理をするというところで別々にもなっているところをちゃんと関係性がわかるように、
00:14:51	図面のの整理をして、説明を変えていくと。
00:14:56	ということだと思ってます。

00:14:58	はい。24番は個別補足、米とかで、議運てと、飛ばす感じで書いてますけど何が飛ばされているのか何をそこで説明するのか、それがいわゆる資料3で言ってる情報とどういう関係なのか、
00:15:10	現状さっぱりわからない状態になってますのでここを整理をしていくということかと思います。
00:15:16	はい。25番は、ベローズのところでの耐震としての設計をし、ということと、閉じ込めとの関係も含めて整理をしていく。
00:15:26	これは先ほどの
00:15:29	図面を説明する時の関係性っていうのもあわせてだと思いたしますが、はい。
00:15:36	26番は、評価と設計と評価のところで項目がうまくマッチしてないところを、それぞれちゃんと書いていくということと、
00:15:48	内蔵機器自体を評価上どう想定してるかっていうところですね。はい。
00:15:53	整理するということ。
00:15:56	拘束条件って何だっけ、27番。
00:16:02	あ、丸と三角の話だ。思い出した。もうこれ、ページ番号ぐらい書いていって欲しいな。どこかの、どの、
00:16:10	赤丸と赤三角って書いて、20、
00:16:16	さっきの図面の番号ででき、
00:16:20	せめて307、308っていうページ数書いといて、
00:16:31	はい、28番ですけどほかさた耐震モデルと同様に考慮しているのかっていうことを説明として、これは機能要求、要求機能との関係でどういうことを考慮しているかってのを整理をして、
00:16:43	記載をするということと、波及影響のところについても見ているのであればその考え方なりをちゃんと書くということかと思ってます。
00:16:51	29番、キリンからの変更点で、大部分が頑丈になっていく方なんですけどそれ逆転してるところは何でっていうところがわからないので、理由も含めて説明をするということかと思います。
00:17:09	30番は最後について図面で配置図が書いてあって吹き出しが書いてますけど吹き出しで書いてる内容と、図面との関係が今ひとつリンクがとれてないので、
00:17:21	説明に必要なことをちゃんと図に入れるなり何なり、整理をするということかと思います。

00:17:28	はい。最後 31 番は今回のグローボックスなり何なりの設計説明を共通順位でやっているということの、審査会合での説明を、技術的説明をすることになると思いますけど、
00:17:41	そういったことを審査会合でどう説明していくのかという説明シナリオをしっかりと整理した上で、それとの関係で、共通順位で示すべきことを整理していくということだったと認識をしています。はい。以上です。
00:17:55	規制庁の田尻です。
00:17:57	29 の前に、海洋だけでもいいですけどこういった耐震の流れになっちゃってます。
00:18:06	三田 C は共通するので、
00:18:08	話し切れてますよっていうのがわかれば、大丈夫なので、よろしく願いします。
00:18:13	はい、二本木西屋でございますありがとうございます。
00:18:17	古作です。同じだったら絶対。
00:18:22	同じような関係ですけど、28 時より上の部分にもう耐震だけじゃない項目はあるんですけど、先ほど資料 2 の最後に追記してもらったところで広井。
00:18:34	挙げられると思いますので、修正を求めないんですけど、
00:18:40	その点、
00:18:41	変に耐震と思込まないようにっていうことだけよろしくお願い致します。
00:18:47	はい、与儀石原でございます。はい、承知しました。防火シャッターの件についてもそうですね、閉じ込めとの関係もあって、話をしていたので、抜けがないように整理をします。はい。
00:19:02	規制庁山口です。バートと全体を通して規制庁側から何かありますでしょうか。
00:19:11	と原燃側も特によろしいでしょうか。
00:19:17	はい。日本原燃でございます特にございません。
00:19:21	それではこれで本日のヒアリングを終了したいと思います。奈良金手島。